

LIBRARY

県立長野図書館概要

令和8年（2026年）4月



県立長野図書館

目次

I 令和8年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～	1
2 取組方針等	2
3 主要事業計画	3
4 組織及び事務分掌	4
5 予算	5

II 令和7年度事業実績

1 事業概要	7
2 展示・企画展の実施及びインターンシップ等の受入状況	8
3 調査相談の状況	12
4 市町村立図書館等との協働、支援	14
5 フォーラム・研修会の開催	17
6 信州・学び創造ラボ	20
7 電子書籍サービス	22
8 読書バリアフリーサービス	23
9 令和7年度主要事業実施状況【概要版】	24

III 統計資料(令和7年度実績)

1 利用状況	33
2 図書館資料の状況	39

IV 県立長野図書館協議会

41

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況	42
2 県立長野図書館の沿革	43
3 施設概要	45
4 利用案内	46

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～

2021 年 7 月 16 日

県立長野図書館

使 命 (Mission)

県立長野図書館は、「共に知り、共に創る広場」として、
信州に関わるすべての人々が「自由に考え、意見を表明し、社会に参画し、意思決定することで、
個人と社会の幸福を追求する」という、民主的社会的な普遍的な価値を支えるため、
人類社会の文化的な発展と平和な世界に、将来にわたって寄与しつづけます。

展 望 (Vision)

- ① 「知る」…情報の改革：いつでもどこからでも、時間と空間を越えて、すべての人々が等しく情報入手し、活用し、成果を発信できるよう、人生を豊かにする創造的な学びの情報基盤を整え、情報格差を解消し、次世代へと継承していきます。
- ② 「出会う」…場の革新：考え、対話し、体験することを通じて獲得できる「実感ある知」の循環を生み出し、新しい価値を創り出すために、実空間と情報空間が融合する、開かれた場を形成します。
- ③ 「育む」…人の変革：いかなる社会変化にあっても、「知る自由」「学ぶ自由」を保障する図書館の本質的機能を、技術革新を取り入れながら最適化し、最大限活用できる人づくりに貢献します。

行動指針 (Value)

- ① 協働します：（Collaboration コラボレーション）
県内外の図書館や各種の文化施設・社会教育施設を始め、広く教育・学術界、産業界や社会的活動を行う人々と力を合わせます。
- ② 接続します：（Connecting コネクティング）
さまざまなコミュニティや人々が信州の自然や社会の営みの中で日々生み出す、「現場にある知」、「暮らしの中の知」を、つなぎ合わせます。
- ③ 強みを生かします：（Competency コンピテンシー）
図書館の普遍的な役割である資料・情報の収集・保存・発信・活用について、専門的な知識・スキル・マインドを持つ職員を育成し、強みを生かして社会に貢献します。
- ④ 挑戦します：（Challenge チャレンジ）
市町村や公共図書館等の取組を下支えし、展開するとともに、自ら先進的なサービスを実験・実践することを通じて、人々と共に成長し、変化に強い図書館づくりに挑戦しつづけます。

2 取組方針

図書館は、「ミッション・ビジョン」に則り、県が設定する各種計画における位置づけに沿って館を運営し、事業を展開する。

- 「長野県総合5か年計画」しあわせ信州創造プラン3.0
大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために
 - ・ デジタル実装による地方の課題解決
 - ・ 歴史や文化芸術に興味関心をもつタッチポイントの充実
 - ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境の創出
- 「第4次長野県教育振興基本計画」 個人と社会のウェルビーイングの実現
一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」とことん追求できる「探究県」長野の学び
 - ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり
- 「第5次長野県子ども読書活動推進計画」
「読むこと」、「知ること」の楽しさを全ての子どもたちに
- 「第2次長野県文化芸術振興計画」
文化芸術の 価値を高め、支える、ひろげる、つなげる、信州のゆたかな未来
 - ・ 多様な分野における文化芸術の活用
 - ・ 地域の文化芸術の推進力の強化
 - ・ 地域の伝統文化の保存・活用

※ この他、「子ども・若者支援総合計画」、「自殺対策推進計画」、「過疎地域持続的発展計画」等にも位置付けられている。

計画に沿って取り組む

令和8年度取組方針

1. 資料・情報

いつでも・だれでも・どこからでも、県民が生涯にわたり「知る・学ぶ」ための「資料・情報」を、収集・保存・活用・発信できる情報基盤を安定運用し、紙とデジタルの特徴を生かした蔵書構築を進めます。

2. 空間・場

実空間である図書館の1～2階のフロア、3階の「信州・学び創造ラボ」を情報空間とつなぎ、それぞれの強みを生かし、融合させながら、日常的に知的活動が展開・循環する「場」を創出します。

3. 人材育成

潜在的な利用者を含めた、全ての県民の学び合い・知的な活動を支えるために、市町村図書館を始め、文化施設・教育機関、県内外の関心を共有するすべての人々と協働し、共に成長していきます。

4. 長野県 eLibrary 計画

図書館のさまざまな機能・サービスについて、それぞれ最適な方法でデジタル化・ネットワーク化を進めます。特に「信州ナレッジスクエア」の拡充と、電子書籍サービスによる学校との連携、地域資料のデジタル化・発信、読書バリアフリーを重点的に進めます。

令和8年度主要事業計画

1 資料・情報

- ア. 長野県の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料(郷土資料)の網羅的な収集及び保存、活用に努めるとともに、デジタル情報も含めた情報資源構築のあり方について検討を進める。
- イ. 「調査相談(レファレンス)」は、利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身につけることを応援するスタンスで実施する。その成果を「レファレンス協同データベース」(運営:国立国会図書館)に事例として登録し、調べ方の発信や知の共有を進めていく。
- ウ. 県民誰もが必要とする本にアクセスできる機会を保障するため、相互貸借送料支援及びインターネット貸出を実施する。
- エ. 当館資料の利用が、新たな情報の「創造」につながるよう、テーマ展示等の取組みを工夫し実施する。
- オ. 「りんごの棚」の設置、拡大読書器、読み上げ器の設置と利用事例の紹介などをとおして読書バリアフリーサービスに関する周知を図り、誰でも読書に親しめる環境づくりを進める。
- カ. 令和8年が長野県150周年となるため、当館が収集してきた地域資料に触れられる書庫ツアー等の関連イベントを実施する。【新規】
- キ. 「旅する本箱」プロジェクトを通じて県内の様々な主体と協働し、公共図書館や書店がない地域においても「身近に本がある」環境を創出する。

2 空間の整備及び多様な情報と出会うための活動の推進

- ア. 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」においては、「ラボデザイン会議」や「ラボカフェ」など、公共空間を共に創る関わりしのある取組みを定期的実施するほか、人と人がつながり合い、新たな社会的価値が創造されていくモデル空間を目指した運営を進める。
- イ. 学びの成果をアウトプットし、試行錯誤ができる場所として「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな創造の仕組みを拡げていく。
- ウ. 実空間と情報空間を融合させ、ICTを利活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。
- エ. 各フロアコンセプト(1階児童図書室「体験・発見・やってみ?!」・2階一般図書室「情報の地図・世界の再発見」)に沿った学びのプログラムを企画・展開する。
- オ. 利用者が様々な情報と出会う可能性を増やすことを意図した「体験の貸出」を広く周知するため、当館で実施されるイベント等においてもボードゲーム等のグッズを活用するほか、市町村や学校の図書館に展開する方策について検討を進める。
- カ. 利用者が安心安全に図書館を利用できるよう、老朽化した設備の整備等、利用環境向上に向けた取組を進める。

3 各地域・分野における県民の学びを支える人材育成支援

- ア. 県内図書館職員等を対象とした初任者研修や、各館の共通課題を共に検討し運営に活かすことを目指す「これからの公共図書館研究会」の開催等を通じて、地域に貢献する図書館人材の育成に取り組む。
- イ. 図書館及び関連領域の全国的な動向把握に努めるほか、県内各地域で開催される実務担当者会議等へ参加し、各館の活動を把握することにより、公共図書館・学校図書館における研修会の企画・開催をサポートする。
- ウ. これからの図書館のあり方を起点として、地域や暮らし、学び等について広く考えるための学びの機会として「信州発・これからの図書館フォーラム」等を開催する。
- エ. 信州における地域資源の共有化を図り、新たな知識化・発信を通して地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげることを目指す「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。

4 「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進

- ア. 図書館機能の高度化の方策として、県内各種機関所蔵情報のデジタル化・公開支援、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化と、これらを融合し活用する学びを推進する。
- イ. 自ら学び、調べるための情報源の充実を図るため、地域資料(郷土資料)のデジタル化を行い「信州ナレッジスクエア」の拡充を進めるとともに、県民の学びの成果や暮らしの記録を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。
- ウ. 市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」の運営を通じ、読書バリアフリーや学校と連携した活用、地域資料(郷土資料)のデジタル化・公開を進める。

4 組織及び事務分掌

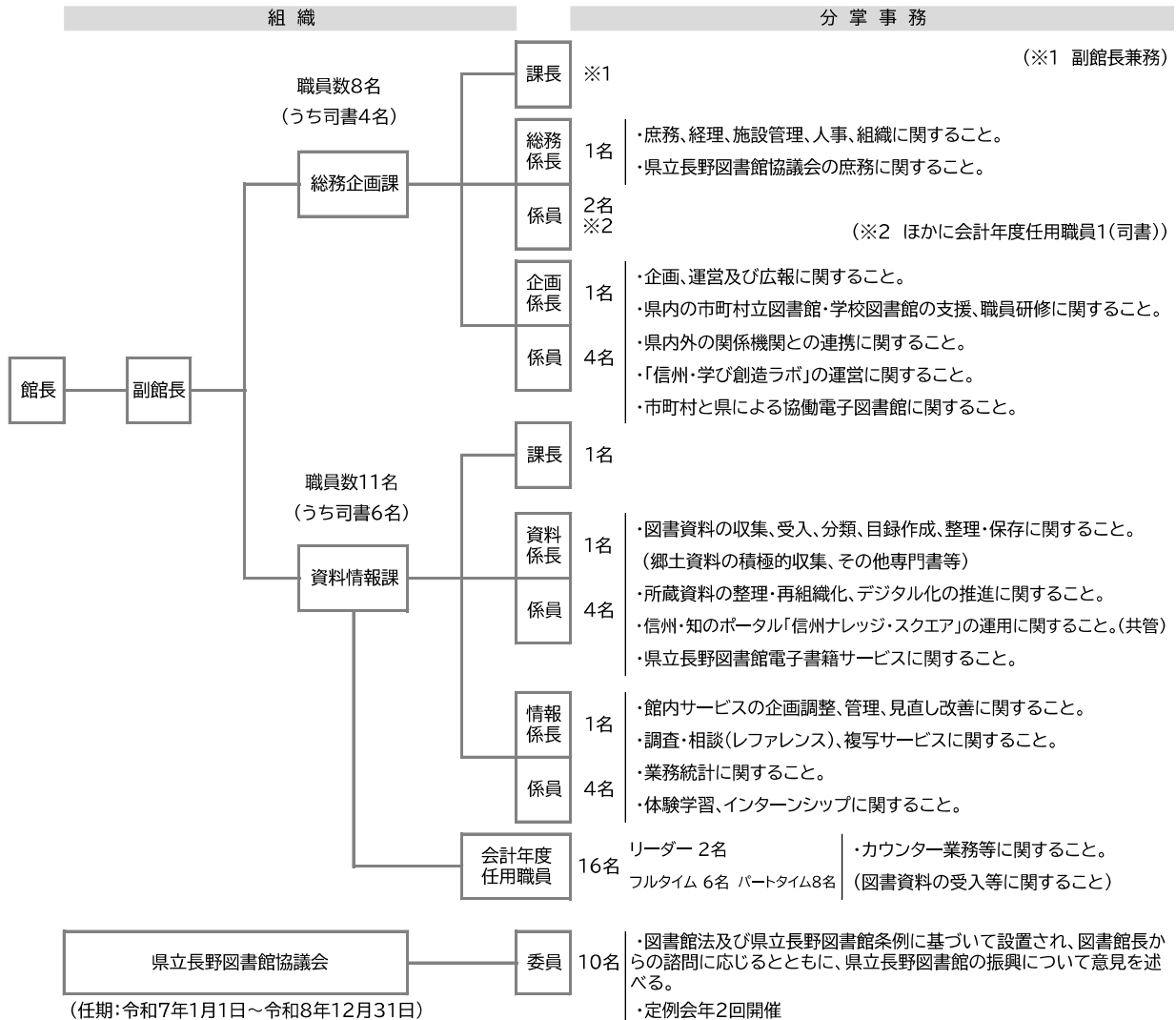
(1) 職員の現員調(令和8年4月1日現在)

区分	常勤職員											会計年度 ※	総数	摘要
	館長	副館長	課長	補佐	係長	専門幹	主幹	主査	主任	主事	計			
員数	1	1	1	0	4	0	0	3	4	7	21	17	38	主事7のうち 臨任3(司書2) ※会計年度任用職員 フル8・パート9
うち司書有資格	1	0	0	0	3	0	0	1	0	6	11	15	26	

(2) 職員数の推移(過去15年間) ※非常勤職員はすべて会計年度任用職員

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
常勤職員	員数	24	24	24	23	23	21	20	21	21	20	21	21	22	22	21	21	
	うち司書有資格	11	10	10	9	9	9	9	9	9	12	13	13	13	15	13	11	
非常勤 ※	員数	12	12	12	12	12	14	14	13	15	18	16	16	16	16	16	17	
	うち司書有資格	12	11	11	11	12	14	14	13	14	17	15	15	15	16	16	15	
計	総数	36	36	36	35	35	35	34	34	36	38	37	37	38	38	37	38	
	うち司書有資格	23	21	21	20	21	23	23	22	23	29	28	28	28	31	29	26	
増減	単年度	常勤職員	0	0	0	-1	0	-2	-1	1	0	-1	1	0	1	0	-1	0
		うち司書有資格	0	-1	0	-1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	-2	-2
		非常勤職員※	0	0	0	0	0	2	0	-1	2	3	-2	0	0	0	0	1
		うち司書有資格	0	-1	0	0	1	2	0	-1	1	3	-2	0	0	1	0	-1
		総数	0	0	0	-1	0	0	-1	0	2	2	-1	0	1	0	-1	1
		うち司書有資格	0	-2	0	-1	1	2	0	-1	1	6	-1	0	0	3	-2	-3
	累積 (H22比)	常勤職員	0	0	0	-1	-1	-3	-4	-3	-3	-4	-3	-3	-2	-2	-3	-3
		うち司書有資格	0	-1	-1	-2	-2	-2	-2	-2	1	2	2	2	4	2	0	0
		非常勤職員※	0	0	0	0	0	2	2	1	3	6	4	4	4	4	4	5
		うち司書有資格	0	-1	-1	-1	0	2	2	1	2	5	3	3	3	4	4	3
		総数	0	0	0	-1	-1	-1	-2	-2	0	2	1	1	2	2	1	2
		うち司書有資格	0	-2	-2	-3	-2	0	0	-1	0	6	5	5	5	8	6	3

(3) 組織及び事務分掌(令和8年4月1日現在)



5 予算

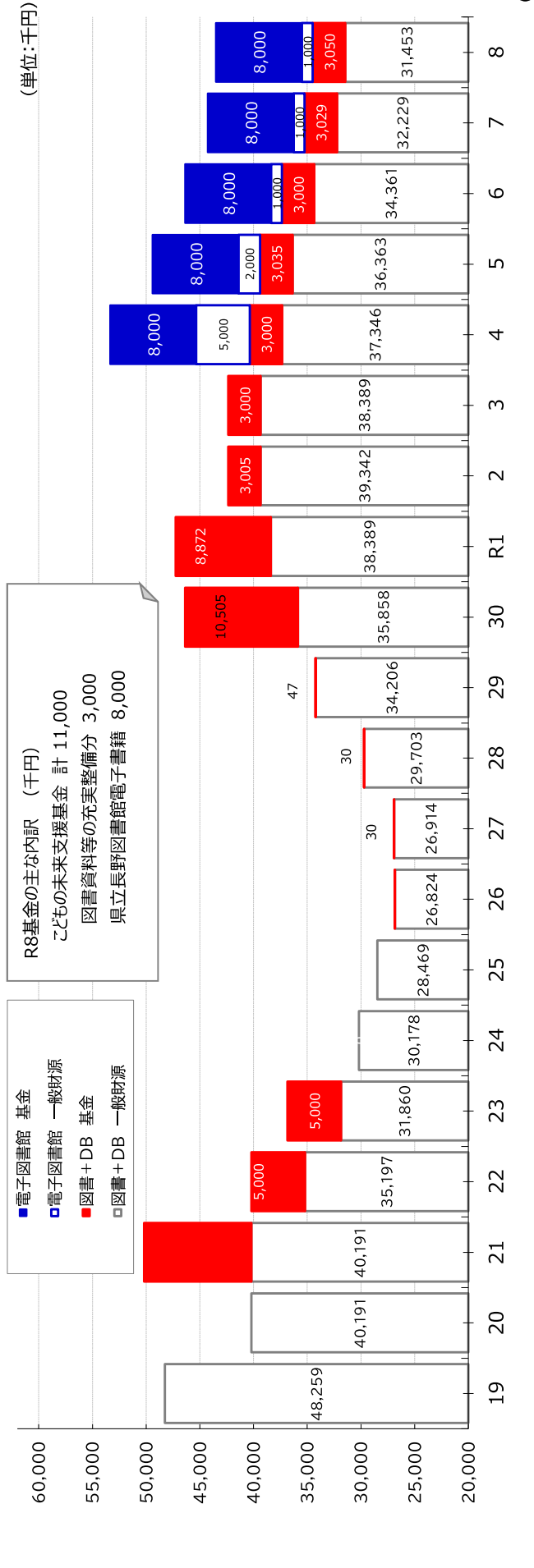
(1) 令和8年度図書館予算

(単位:千円)

区 分	項 目	令和8年度	令和7年度	増 減	
管 理 運 営 費	人件費 (会計年度任用職員(司書))	64,287	61,499	2,788	
	庁舎管理委託	24,720	19,123	5,597	
	光熱水費等	20,027	25,505	△5,478	
	管理運営費計 ①	109,034	106,127	2,907	
コンピューター 管理費	システム/コンピューター借上等 ②	60,516	39,262	21,254	
図 書 館 事 業 費	図 書 館 資 料 の 充 実	一般図書	24,010	25,037	△1,027
		児童図書(学校支援を含む)	2,500	2,000	500
		新聞雑誌等	4,400	4,500	△100
		データベース	3,593	3,721	△128
		電子図書館コンテンツ使用料	9,000	9,000	0
		図書館資料費計	43,503	44,258	△755
	貸出図書郵送料	2,600	2,600	0	
	フォーラム・研修会費	1,229	834	395	
	業務用機器借上等	3,255	3,222	33	
	「信州・学び創造ラボ」整備・運用	5,166	4,964	202	
	「デジとしよ信州」プラットフォーム使用料	2,376	2,376	0	
	所蔵資料デジタル化委託費	900	900	0	
	その他	900	900	0	
	図書館事業費計 ③	59,929	60,054	△125	
積立金	基金積立金 ④	26	1	25	
合 計(①+②+③+④)		229,505	205,444	24,061	

	令和8年度	令和7年度	増減
市町村負担金 ⑤	8,000	8,000	0
総合計(合計+⑤)	237,505	213,444	24,061

(2) 図書購入費(予算額)の推移



※電子図書館の令和8年度は、一般財源・基金とも当館の電子書籍サービス(KinoDen)のコンテンツに相当予定。(市町村と県による協働電子図書館負担分はなし。)

II 令和7年度事業実績

1 事業概要

(1) 利用状況

開館日数 入館者数 (日平均)	計 279日 344,102人 (1,233)	平日 178日 210,421人 (1,182)	土・日曜日 93日 122,454人 (1,317)	祝日 8日 11,227人 (1,403)
資料の個人貸出	計 86,719冊	一般図書 41,391冊	児童図書 45,328冊	
相互貸借	計 3,326冊	貸出 3,174冊	借受 152冊	
調査相談 (レファレンス)	計 10,096件	口頭 7,140件	電話 2,384件	メール他 572件
登録者	累計登録者数 109,283人	新規登録者数 3,248人		

(2) 図書資料等の状況

ア 所蔵点数

図書	計 734,025冊	一般図書 515,770冊	郷土図書 120,864冊	児童図書 97,391冊
フィルム等	マイクロフィルム 10,283リール	16ミリ映画フィルム 2,260本	ビデオ・DVD 3,214本	

※一般図書、児童図書は、外国語資料を含めた冊数。

※R7.10のシステム更新に伴い、過去に除籍済みの資料データを物理削除(△52,587件)

イ 図書資料の受入状況等

	計	一般図書	郷土図書	児童図書
購入	8,752冊	4,481冊	2,316冊	1,955冊
寄贈等	5,700冊	1,820冊	3,735冊	145冊
除籍	38冊	11冊	14冊	13冊
増加数	14,414冊	6,290冊	6,037冊	2,087冊

ウ 電子書籍の状況

	計	KinoDen
購入(増加数)	792冊	792冊
利用可能点数	2,619冊	2,619冊

エ 契約データベース

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ① 信濃毎日新聞社「信濃毎日新聞データベース」 | ⑦ 農山漁村文化協会「ルーラル電子図書館」 |
| ② 朝日新聞社「朝日新聞クロスサーチ」 | ⑧ ネットアドバンス「ジャパンナレッジLib」 |
| ③ 日本経済新聞社「日経テレコン」 | ⑨ ジー・サーチ「JDreamⅢ」 |
| ④ 第一法規「D1-Law法情報総合データベース」 | ⑩ 読売新聞社「ヨミダス」 |
| ⑤ 国立印刷局「官報情報検索サービス」 | ⑪ 毎日新聞社「毎索」 |
| ⑥ 国立国会図書館デジタルコレクション | ⑫ 中日新聞社「中日新聞・東京新聞記事データベース」 |

2 展示・企画展の実施及びインターンシップ等の受入状況

(1)企画・展示

内容	実施期間・場所	概要
夏休み特別企画 「ナツとしよ2025」 図書館バックヤードツアー	7月31、8月1、2、3、 5、7、8日 書庫・整理室 午後1回開催	図書館職員の案内で普段は立ち入ることのできない書庫見学を実施。
謎解きゲーム 図書館探検大作戦	8月5、6、7、8日 1階児童図書室 午後1回開催	スタンプラリー形式の、手と足と頭を使って図書館内の機能と資料を探検するゲームを実施。
「情報をうみだす」POP展示	4、6、7月 1階児童図書室 2階一般図書室	職場体験学習の一環として生徒が選書した本の紹介。 テーマを決め選んだ本をもとにPOPを作成。 より多くの本を手にとってもらうための手段として、いかに情報を伝えられるかを考えた展示。
追悼コーナー	4月～3月 1階児童図書室	「岩崎京子さん(R7.7月18日～7月31日)」 「松原秀行さん(R8.2月26日～3月19日)」 「竹下文子さん(R8.3月17日～4月5日)」 「山中恒さん(R8.3月20日～4月12日)」
ひな人形展示	2月～3月 3階信州学び創造ラボ	R8.2月27日～3月27日
岩波文庫コレクション	通年 2階ナレッジラボ	岩波書店創業者である岩波茂雄が長野県出身であることから、個人の方が収集し令和元年度に寄贈された約8,000冊を常設展示。

(2)児童図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
ブックスプラウト	「さあ行こう！」(未来はどうなる?どうしたい?)	3月～6月
	1期 『『世界』のはじまり』	7月～10月
	2期 「つなぐ つたえる つむぐ」	11月～2月
	3期 「終(おわり)から始(はじまり)」	3月～
児童展示	「はじまる」	4月
	「こどものひ」【こいのぼり、菖蒲湯の由来など】	5月
	「みず」【水の循環、雨、台風、洪水など】	6月
	「なにでいく?」【自転車、車、バス、船、飛行機、ロケットなど】 「七夕」	7月
	「そらもよう」【天気、虹、気候など】 「お盆・戦争」	8月
	「つき」「ハロウィン」	9月～10月
	「秋・七五三」	11月
	「クリスマス」	12月
	「年越・正月・成人の日」 「おに」【節分・鬼が登場する絵本】	1月
	「ハート」【愛情・友情など】	2月
	「ひなまつり」 「進級&進学おめでとう」 「スポーツ」	3月～
ふるさと	県内小中学生作成「地域紹介パンフレット」展示	通年
	映画「名探偵コナン 隻眼の残像」に関わる展示	5月～10月
	読書感想文コンクール	7月～8月
	自由研究	7月～8月

(3)一般図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
の信州の暮らすを記録し	「山粧う」「山眠る」	8月～1月
	「山笑う」「山滴る」	2月～7月
はまならぐ・	「はたらきつづけるには?」「相談できる人はいますか?」「一緒にはたらくには」	8月～
	「いろいろなはたらき方」	
自然とか	「長野県科学振興会パネル展示」	1月～

(4)ブック・sprout

ゾーン	内 容	実施期間
信州の暮らしの記憶を記録する	「渡世」 「足元から見る信州(地上編)」 「足元から見る信州(地中編)」	7月～10月 11月～2月 3月～
私たちはどこからきたか	「わたしの世界 あなたの世界 感覚・場所・時代—世界はひとつじゃない」 「なぜ【3】に惹かれるのか」 「常識を再考する」	7月～10月 11月～2月 3月～
はたらく・まなぶ	「世の中を知る」 「【分数】で考えてみる」 「〇〇を診断する」	7月～10月 11月～2月 3月～
自然とからだ	「あなたが選ばなかった未来は、別の世界で存在しているかもしれない」 「私たちはどこまで神になれるのか」 「Do You 脳? 意思を操るのは誰?」	7月～10月 11月～2月 3月～
音・ことば・身体	「別世界—さまざまな世界—」 「学校」 「【わたし】から【あなた】へ」	7月～10月 11月～2月 3月～

(5)信州・学び創造ラボ展示

内 容	実施期間
「わかさとクエスト」和楽器演奏、体験会・関連資料展示	4月30日～5月4日
がん教室・関連資料展示	5月6日～5月21日
信州発・これからの図書館フォーラム「地域の読書環境をもっと豊かに！—読者×書店×図書館×∞」・関連資料展示	5月21日～8月29日
やさしい午後の台湾茶会・関連資料展示	6月19日～6月22日
「読書バリアフリーって何だろう?」・関連資料展示	6月22日～8月15日
日系アメリカ二世写真展・関連資料展示	8月15日～8月27日
がん教室・関連資料展示	8月27日～9月4日
テレビ信州24時間テレビ + 災害アーカイブ展「令和元年東日本台風から6年」・関連資料展示	8月29日～10月20日
信州発・これからの図書館フォーラム「読者の歴史を考える」・関連資料展示	9月4日～9月23日
全国大学ビブリオバトル2025 中部内陸Bブロック決戦・関連資料展示	10月31日～11月23日
「独りじゃない団地～支え合いのネットワークをどう築く?～」・関連資料展示	10月31日～11月23日
YA図書「哲学」・関連資料展示	10月31日～12月26日
がん教室・関連資料展示	11月23日～12月7日
第9回地の連携フォーラム「感性を育てる試み～学校教育との連携～」(開催は長野県立歴史館)・関連資料展示	11月23日～12月7日
信州SDGsアワード・関連資料展示	11月23日～12月26日
モノコトフェス・関連資料展示	12月14日～12月16日
書店と図書館がつなぐ未来の読者in長野・関連資料展示	12月24日～2月28日
YA図書「名作文学」・関連資料展示	12月26日～2月27日
にほんごプラス ブッククラブ・関連資料展示	1月17日～1月20日
信州発・これからの図書館フォーラム「子どもの読書活動推進の担い手と可能性を考える」・関連資料展示	1月17日～1月20日
にほんごプラス ブッククラブ・関連資料展示	1月17日～1月20日
YA図書「はたらく」・関連資料展示	2月27日～
がん情報・関連資料展示	2月28日～3月23日
AI時代におけるこれからの学び方、働き方・関連資料展示	2月28日～3月23日

(6) 視察・見学等

期 日	人数	相手先	目 的
5月9日	6	松本市本郷公民館視察	図書館視察
6月5日	15	清泉大学/司書課程	図書館見学
6月12日	10	長野県松代高等学校	図書館見学
7月1日	6	上田市職員	図書館視察
7月16日	1	長野市立長野高等学校	探究学習
7月30日	18	長野日本大学高等学校	探究学習
8月15日	1	長野県長野高等学校	探究学習
8月16日	4	NHK「あさイチ」撮影	取材
8月22日	13	松本大学松商短期大学部/司書課程	図書館見学
10月2日	26	長野市立東条小学校	図書館見学
11月11日	2	長野県長野高等学校	探究学習
11月12日	1	石川県議会議員視察	図書館視察
11月19日	7	長野市立長野中学校	探究学習
11月19日	5	長野大学	調査・見学
12月5日	4	清泉大学	ワークショップ・見学
12月23日	45	信濃町立信濃小中学校	図書館見学
2月10日	7	加賀市議会議員視察	図書館視察
2月20日	3	鹿児島県立図書館視察	図書館視察
3月17日	1	共同通信社	取材
合 計	175 人	※「目的」列が「図書館視察」のものは、「6 信州・学び創造ラボ」の視察件数(p21)該当	

(7) 職場体験学習等受入

期 日	人数	相手先	目 的
4月24日	4	文化学園長野中学校	職場体験学習
7月10.11日	2	長野市立豊野中学校	職場体験学習
7月10.11日	2	長野市立柳町中学校	職場体験学習
7月17日	4	長野市立裾花中学校	職場体験学習
7月24日	3	長野市立更北中学校	職場体験学習
10月3日	2	豊野高等専修学校	職場体験学習
10月9.10日	2	長野市立篠ノ井西中学校	職場体験学習
合 計	19 人		

(8) 大学生インターンシップ

期 日	人数	相手先	目 的
8月28日~ 9月10日	1	筑波大学	図書館実習
	1	青山学院大学	図書館実習
9月9日	4	県庁インターンシップ	職場体験
合 計	6 人		

3 調査相談の状況

(1) 調査相談の内訳

(単位:件)

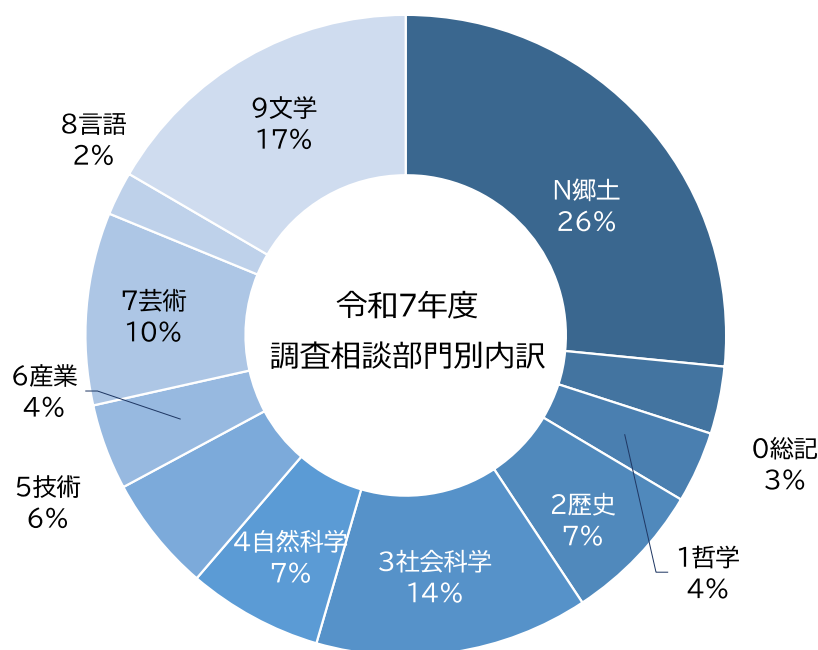
項目	令和7年度					令和6年度					
	口頭	電話	メール	FAX 文書	小計	口頭	電話	メール	FAX 文書	小計	
部門別内訳	N郷土	446	91	167	32	736	319	63	238	32	652
	0総記	86	5	2	1	94	37	7	4	10	58
	1哲学	75	11	4	10	100	42	8	2	0	52
	2歴史	187	9	2	0	198	98	20	4	3	125
	3社会科学	247	17	15	103	382	119	30	17	2	168
	4自然科学	182	7	0	0	189	109	7	3	0	119
	5技術	131	6	7	18	162	90	5	2	0	97
	6産業	111	8	1	0	120	92	12	2	0	106
	7芸術	153	4	9	103	269	132	13	3	100	248
	8言語	54	7	0	0	61	22	5	3	1	31
	9文学	396	23	3	38	460	153	16	8	4	181
	E絵本	285	15	1	0	301	118	4	1	0	123
新聞・雑誌	138	42	45	11	236	60	47	53	10	197	
利用案内	4,649	2,139	0	0	6,788	1,831	2,051			3,882	
合計	7,140	2,384	256	316	10,096	3,222	2,288	340	162	6,012	

※N郷土は、NO類～N9類に関する調査の調査件数を合計したものの。

※部門別内訳の0総記～9文学は、一般と児童に関する調査件数を合計したものの。

※新聞・雑誌は、郷土、一般、児童に関する調査件数を合計したものの。

※円グラフには、新聞・雑誌と絵本の調査件数は含まない。



(2) 図書館・行政機関等からのレファレンス件数

令和7年度	令和6年度
24	63

※(1) 調査相談の内訳表の内数

(3) 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」登録件数・被参照数

(単位：件)

項目	令和7年度		令和6年度		累計(令和7年度末)	
	レファレンス事例	調べ方マニュアル	レファレンス事例	調べ方マニュアル	レファレンス事例	調べ方マニュアル
登録件数	202	15	236	5	2,559	50
被参照件数	822,821	27,430	3,899,997	42,354		

※被参照数は、web上で一般の利用者や他の図書館に検索して見られた件数

(R6年2月のサイトリニューアル後、ロボットによるアクセス数が含まれたため、被参照件数が増加していたが、R7年度はブロックしたことにより、減少した。)

※登録件数は一般公開、参加館限定公開、自館のみ公開の区分で登録した事例の合計件数

当館では、インターネットを介して多くの方が利用できるようレファレンス事例を、国立国会図書館が提供する「レファレンス協同データベース」に積極的に登録している。

この事業について、登録数が多い参加館、又はアクセスが多い参加館等に国立国会図書館長から贈られる礼状を、9年連続で受領した。

礼状の対象となった項目は次のとおり。(データの公開レベルに応じてポイント化し、基準※を達成)

※基準については「[レファレンス協同データベース](#)」を参照

・年間データ登録ポイント:	843ポイント
・調べ方マニュアルの累計データ登録ポイント:	422ポイント
・年間データ被参照件数:	922,706ポイント
・累積データ登録ポイント:	7,019ポイント

(対象期間：令和7年1月から12月まで)

令和7年度に寄せられた質問【抜粋】 ※文末の()内数字は「レファレンス協働データベース」での被参照数
郷土に関する質問

- ・[「雪」を善光寺で食べた、幕末の長州藩士・久坂玄瑞が文久元年\(1861年\)5月12日の日記に書いている。この「雪」とは何か。](#)(1,519)
- ・[中山道の宿場町である、長久保宿と和田宿の屋号について書かれている資料が見たい。](#)(1,135)
- ・[明治12年頃の南佐久郡稲子村内の水利権に関する史料はあるか。](#)(1,182)

一般に関する質問

- ・[野球選手と病弱な少年が出会い、「次の試合でホームランを打ったら手術を受けて」と約束したのは、誰が最初か。](#)(1,844)
- ・[アリの嗅覚は、どれくらい離れたところからエサをみつけれられるのか。](#)(1,161)
- ・[スペインで行なわれる「トマト祭り」に参加したい。歴史や概要、参加方法等を知りたい。](#)(969)

県立長野図書館のレファレンス事例は、ホームページまたは二次元コードからアクセスしてご覧いただけます。



4 市町村立図書館等との協働、支援

(1)市町村図書館等運営に関する相談

県内の公共図書館・公民館図書室・学校図書館等と連携し、協働体制を整えた。

また、運営上の様々な相談・図書館設置に向けての助言・提案等を行った。

ア 北信公共図書館連絡協議会館長・庶務担当者会議

令和7年5月30日（中野市立図書館）

イ 第55回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和7年9月12日（大桑村役場）

エ 第56回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和8年2月13日（池田町交流センター「かえで」）

※市町村図書館等を対象にした研修事業については「5 フォーラム・研修会の開催」に掲載

(2)Facebook ページを活用した情報発信

「県立長野図書館」.....信州の「図書館のある暮らし」に関する情報発信

「信州発・これからの図書館フォーラム」.....これからの図書館が進む方向についての提案・情報提供

「山に見える図書館—信州のまち・ひと・としょかん」.....県内の図書館に関する情報発信

「信州・学び創造ラボ」.....県民が主体となる“共知・共創”の場としての活用提案と活動報告

「信州ナレッジスクエア」.....信州の情報を繋ぐポータルサイトに関する情報発信

(3)図書館業務関連調査実施及び結果の提供状況

名称	調査期間	対象館	
公共図書館概況調査	令和6年4～6月	120館	長野県内公共図書館の概況調査 (結果はHPに公開)

(4)長野県図書館大会企画運営委員会の事務局運営

ア 企画運営委員会の開催 令和7年7月2日、令和8年3月12日

イ 大会実行委員会と連携して、第75回長野県図書館大会兼第33回北信越地区学校図書館研究大会を開催

【日程】 令和7年11月7日・8日(大学専門図書館部会は11月6日)

【会場】 佐久市内5小中学校、佐久平交流センター

【大会テーマ】「豊かな学びを支える図書館 ～よりよい未来の創造に向けて～」

【基調講演】「本を読む・物語を生きる」(講師 石井睦美氏(作家))

【分科会】

①デジタルアーカイブのはじめ方、つづけ方

②スモールステップで始める読書バリアフリー

③頑張ってます！小規模自治体の図書館

④学校図書館とプライバシー、やってみようアニメーション

⑤学校図書館運営の実際 図書館ICTパワーアップ

⑥学校図書館運営の実際 図書館機能の活性化

- ⑦学校図書館運営の実際 学びを支える図書館①
- ⑧学校図書館運営の実際 学びを支える図書館②
- ⑨学校図書館運営の実際 共につくる本の出会い①
- ⑩学校図書館運営の実際 共につくる本の出会い②
- ⑪学校図書館運営の実際 共につくる本の出会い③
- ⑫読書バリアフリーに対する大学図書館の対応と課題

【参加者】 11月6日:33名/11月7日:328名/11月8日:448名
(各日程の最大参加数)

(5)長野県図書館協会との連携・協力

ア 公共図書館部会事務局運営による事業実施

(ア)幹事会の開催 令和7年5月1日、令和8年3月25日(いずれもオンライン)

(イ)公共図書館長会議の開催 参加者48人(オンライン併用)

令和7年5月23日 松本市中央図書館

(ウ)これからの公共図書館研究会の開催

○学びのプログラム・学校連携(11名 4回)

・事例共有、学校図書館職員との意見交換

○資料活用・レファレンス(20名 3回)

・レファレンス技術、ツールの共有と伝達、および資料活用の方策を探る

(エ)公共図書館長研修の開催 参加者61人(オンライン併用)

令和7年12月19日 県立長野図書館

イ ステップアップ(専門)研修への参加・協力

テーマ「地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために」

令和8年2月4日 県立長野図書館……参加者10人

令和8年2月13日 池田町交流センター「かえで」……参加者23人

(6)その他機関との連携・協力

ア 信州大学附属図書館との連携・協力

平成27年8月に締結した連携覚書に基づき、双方の交流研修を隔年で実施(令和7年度実施)

イ 株式会社カーリルとの連携・協力

新たな図書館サービスの構築に向けての調査研究等を推進するための協定を平成30年10月に締結

ウ 株式会社バリューボックスとの連携・協力

本を使った社会貢献活動や新たなコミュニティの創造等、双方が持つスキルを活用した本をめぐる新しいサービスを実現するための協定を平成31年4月に締結

エ 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・FabLab 長野および株式会社アソビズムとの連携・協力

長野県内のものづくりを通じた創造的な学びのプロセスを整え、共通プラットフォームをつくるための協定を平成31年4月に締結

オ 長野県立美術館との連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和 4 年7月に更新

カ 長野県埋蔵文化財センターとの連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和 5 年 6 月更新

(7)市町村と県による協働電子図書館(デジとしよ信州)

県内 77 市町村と協働して、令和 4 年 8 月 5 日から開始した電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を継続して実施した。

※詳細は p22 参照。

(8)旅する本箱

Learn by Creation NAGANO 実行委員会と協働して、本とメッセージ・感想が県内各地を巡るプロジェクトを実施した。

ア 期間 令和 7 年 9 月～11 月、11 月～令和 8 年1月、1月～3月、3月～

イ 設置場所

飯山赤十字病院(飯山市)

長野県障がい者福祉センターSUN APPLE(長野市)

泊まれる本屋 Re:Public(白馬村)

有明高原寮(安曇野市)

JR 中込駅(佐久市)

ゲストハウスフルマチ邸(松川町)

グリーンウッド自然教育体験センター(泰阜中学校学習支援)(泰阜村)

交流拠点シラネバ(根羽村)

ウ 本のテーマ

「懐かしい未来」「あなたも行きたくなる」「もし 1 週間休みがあったら」「今日何食べよう」

「森と泉の国からの贈りもの」「世界の秘密を冒険しよう」「運命を変えた一冊」

「自分らしく生きる」「からだがよろこぶ時間」

5 フォーラム・研修会の開催

(1) 信州発・これからの図書館フォーラム 新シリーズ「共知・共創の広場ーもう一步踏み出す」

期日・場所	内容	講師等	参加者
6/14(土) 県立長野図書館 ZOOM 配信併用	【信州発・これからの図書館フォーラム】 地域の読書環境をもっと豊かに！ 一読者×書店×図書館×∞	JPIC 一般財団法人出版文化産業振興財団専務理事 松木修一氏 株式会社カーリル代表取締役 吉本龍司氏 株式会社笠原書店代表取締役社長 笠原新太郎氏 市立岡谷図書館長 小坂英之氏 株式会社興文堂代表取締役社長/塩尻市書店組合 奈良井功氏 塩尻市立図書館長 矢澤昭義氏	130
9/7(日) 県立長野図書館 ZOOM 配信併用	【信州発・これからの図書館フォーラム】 「読者の歴史を考える」戦後 80 年特別企画講演会	早稲田大学教育・総合科学学術院教授 和田敦彦氏	20
2/22(日) 県立長野図書館 ZOOM 配信併用	【信州発・これからの図書館フォーラム】 「子どもの読書活動推進の担い手と可能性を考える」	信州大学学術研究院教育学系准教授 八木雄一郎氏 大桑村図書館長 平中和司氏 長野市立更北中学校教諭 佐々木宏展氏 伊勢市教育委員会事務局教育メディア課読書推進係 子ども読書活性化担当 宮澤優子氏 成蹊大学非常勤講師 中山美由紀氏	100

(2) 図書館の機能についての一般向け研修・講座

期日・場所	内容	講師等	参加者
7/31(木) 中野下高井 教育会館	世界を知る窓を開く：図書館情報探索のコツ (長野県政 出前講座)	県立長野図書館職員	60
7/31(木) 8/1(金) 8/2(土) 8/3(日) 8/5(火) 8/7(木) 8/8(金) 県立長野図書館	ナツとしよ 図書館バックヤードツアー	県立長野図書館職員	58
8/5(火) 8/6(水) 8/7(木) 8/8(金) 県立長野図書館	ナツとしよ 図書館探検大作戦	県立長野図書館職員	80
8/21(水) 県立長野図書館	「令和 7 年度林業士入門講座」 地域で活動するために必要となる情報を扱い知識とそれを活用するための実践的なスキル獲得を目指す。	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 槌賀 基範 久保 春生 佐藤 美由紀 佃 笙子	3

(3)階層別及び技能別に実施する研修事業

期日・場所	内容	講師等	参加者
5/23(金) 松本市中央図書館 オンライン併用	長野県公共図書館長会議 【基調講演】 「発信、交流。連携をキーワードとした空間運営」 【県立長野図書館の市町村連携事業説明】 【グループワーク】	泉大津市立図書館長 河瀬 裕子 氏	48
6/19(木) 県立長野図書館	「公共図書館職員初任者研修(座学)」	県立長野図書館館長 森 いつみ 県立長野図書館司書 小澤 多美子 榎賀 基範 丸山 和子 小林 百合	42
7/2(火) 県立長野図書館	「公共図書館職員初任者研修(レファレンス実習)」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 小林 百合 有賀 拓郎 松峯 笑子	28
7/3(水) 塩尻市立図書館	「公共図書館職員初任者研修(レファレンス実習)」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 小林 百合 有賀 拓郎 松峯 笑子	23
7/9(水) 諏訪市図書館	「公共図書館職員初任者研修(レファレンス実習)」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 小林 百合 松峯 笑子	12
7/10(木) 佐久穂町図書館	「公共図書館職員初任者研修(レファレンス実習)」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 小林 百合 松峯 笑子	5
12/19(金) 県立長野図書館 オンライン配信併用	長野県公共図書館長研修会 【基調講演】 「原点を問いつける ―今どこにいて、どこからきて、 これからどこへ向かうのか」 【「新しい長野県史」編さんについて】 【各種情報提供・質疑応答】	小布施町立図書館長 志賀 アリカ 氏 長野県史編さん準備会構成員(総括) 伊藤 純郎氏	61
11月～3月 オンライン	中堅職員育成研修会(これからの公共図書館研究会) ○学びのプログラム・学校連携(11名 4回) ○資料活用・レファレンス(20名 3回)	県立長野図書館職員	31
2/4(水) 県立長野図書館	長野県図書館協会専門研修 地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために	県立長野図書館館長 森 いつみ 県立長野図書館司書 小林 百合	10
2/13(金) 池田町交流センター 「かえて」	長野県図書館協会専門研修 地域資料や学校資料をデジタルアーカイブ化するために	県立長野図書館館長 森 いつみ 県立長野図書館司書 小澤 多美子 小林 百合	28

(4) 各地域における図書館職員等研修実施及び連絡会への出席

期日・場所	内容	講師等
5/30 (木) 中野市立図書館	北信公共図書館連絡協議会館長・庶務担当者会議	県立長野図書館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 槌賀 基範
6/25 (水) 松本市中央図書館	蔵書のあり方検討会	県立長野図書館司書 丸山 和子
6/27 (金) 松本市中央図書館	令和7年度松本市学校司書・図書館司書合同研修	県立長野図書館司書 槌賀 基範
9/12 (金) 大桑村役場	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館司書 小澤 多美子
9/13 (土) オンライン開催	上伊那図書館教育研究会	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 槌賀 基範
10/22 (水) 筑北村図書館	中信地区公共図書館長会議	県立長野図書館長 森 いづみ
2/13 (金) 池田町交流センター「かえて」	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会 (兼長野県図書館協会専門研修)	県立長野図書館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 小澤 多美子 小林 百合
3/7 (土) 松本市文書館	松本市文書館講座	県立長野図書館司書 丸山 和子

6 信州・学び創造ラボ

「共知・共創（共に知り、共に創る）」をコンセプトに、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場を目指し 2019 年 4 月 6 日に開設。これからの図書館や公共空間のあり方を考える実験室として、また、信州のこれからの学びの姿を試し体感できる場所として運用している。



(1) 各フロアコンセプト

信州情報探索ゾーン - 信州の「知の営み」を体感する

県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書、戦時中に閲覧停止を行った資料などを六角スペース内に展示し、信州の過去と未来をつなぐデジタルな情報源も埋め込む。奥には畳コーナーやカラフルなクッションフロアを設け、利用者の自由な発想を促し、様々な活動に結びつくことを見込んでいる。

Co-Learning ゾーン - 多様な情報や人がつながり、アイデアをかたちにする

ワークショップやミーティングなど、グループでの活動を実現するエリア。PC 接続モニター、ホワイトボード、電子黒板など、対話をその場で可視化しながら共有できる機能を設けた。そこで生まれたアイデアを具体化し、一般利用者の知的好奇心を喚起する設備として、キッチンブースやマイクロライブラリーを設置している。

モノコトベース - アウトプットからはじまる学び

UV プリンターやレーザーカッター等の工作機器を中心に設けたメイカースペース。創造的な学びのプロセスを実感し、アウトプットすることが次の学びにつながる循環の場となることを意図している。個人単位での利用は目的にしておらず、興味・関心が重なる仲間とともにコミュニティをつくり、自由で自立的な空間の形成を目指す。

(2) 主な取組等

空間デザインや運営のあり方について、整備段階から一般参加者と共にワークショップで議論を重ねてきた。

オープン後も継続し「ラボ・デザイン会議」「Labo.café」などの形で定期開催している。

(テーマは毎回異なる)

※はオンラインを含む開催形式

区 分	内 容(令和 7 年度)
「モノコトベース」 関係の催し	<ul style="list-style-type: none"> ・モノコトベース・オープンデー(12回) ・オリジナルライブラリーカードワークショップ(23回) ・機器安全講習会(11回) (12月を除くモノコトベース・オープンデー開催日の午前開催 修了者 37名) ・モノコトフェス#2 (当館からはモノコトベース・オープンデー、レーザーカッター体験会、 ボードゲーム体験会を実施) ・わかさとクエスト 謎解きゲーム景品のチャーム作成
主催・共催企画	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの図書館フォーラム※(①地域の読書環境をもっと豊かに! 、②読者の歴史を考える、③子どもの読書活動推進の担い手 と可能性を考える) ・Labo.café(#26 ラボで何する?、#27 アナログゲームで遊びま せんか?、#28 木製ボードゲームで遊んでみる会)
視察・取材・見学	自治体、図書館および教育機関等(5件)

(3) 管理運営等

区 分	役 割
図書館職員	<ul style="list-style-type: none"> ・施設配置、利用方法等の案内や説明 ・利用者同士の交流、利用者による自立的運営を促す機会を提供 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援
トレーナー (委託契約)	<ul style="list-style-type: none"> ・ラボの利用を促進するための利用支援 ・モノコトベース設置機器の安全指導 ・人と人をつなぐイベントの開催
利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者コミュニティの組織化 ・自主的な施設の管理運営方法を検討し実施

7 電子書籍サービス

(1) 県立長野図書館電子書籍サービス

令和 4 年 8 月 5 日から、紀伊國屋書店の「KinoDen」による電子書籍サービスを開始した。

(県立長野図書館利用カード所持者が、当館ホームページ内の「マイライブラリー」にログインすることによって閲覧可能となる、リファラ認証方式による。)

令和7年度末タイトル数 (a)	2,619 タイトル
令和7年度中閲覧タイトル (b)	2,268 タイトル
総閲覧数 (c)	5,834 回

利用率(全コンテンツのうち利用されたコンテンツの割合 b/a)	86.6%
回転率(1コンテンツの平均利用回数)(c/a)	2.2 回

(2) 市町村と県による協働電子図書館(デジとしよ信州)

令和 4 年 8 月 5 日から市町村と県との協働による電子図書館「デジとしよ信州」によるサービスを提供した。

令和7年度末 ID 数(a)	36,834 ID
令和7年度末コンテンツタイトル数(b)	23,659 タイトル※
令和7年度末貸出件数(総閲覧数)(c)	353,494 回

1ID の平均利用回数(c/a)	9.5 回
1コンテンツの平均利用回数(c/b)	14.9 回

※購入タイトル数は 21,780

(3) アクセシブルライブラリー

視覚障がい者向けの「市町村と県による協働電子図書館(デジとしよ信州)」のサービスとして、令和 5 年 5 月から開始。

- ・コンテンツ数 19,783 タイトル
- ・県内登録者数 50 人



電子書籍サービス全体図

8 読書バリアフリーサービス

(1) オンラインサービス

- ・サピエ図書館
全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するインターネットによる視覚障害者情報総合ネットワークに令和2年4月から加盟。サピエ図書館及び全国約220の加盟施設・団体が登録したデータをダウンロードし、デジ図書を作成のうえ、貸出。
- ・視覚障害者等用データ送信サービス承認館
国立国会図書館から視覚障害者等用データの送信を受けることができる。
- ・アクセシブルライブラリー(p22 参照)
デジとしよ信州の機能の一つである「アクセシブルライブラリー」(視覚障がい者専用の電子図書館サービス)の登録を令和5年5月から開始。
利用者IDカードは、県立長野図書館か最寄りの図書館へ申込が必要。

(2) 機器・読書補助具類

- ・拡大読書器(1台)
- ・音声読書器「快速よむべえ」
(一体モデル1台、拡大モデル1台)
- ・書見台
- ・プレクストーク(1台)
- ・ルーペ、老眼鏡、リーディングトラッカー
- ・点字器



拡大読書器



(3) 展示

- ・りんごの棚
(LLブック、点字、布絵本、大活字本)
日本語多読本等
- ・バリアフリー図書の展示・貸出




りんごの棚





9 令和7年度主要事業実施状況【概要版】

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等												
<p>(1) 資料・情報</p> <p>(ア) 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」を戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担をし、蔵書構築をすすめる。</p> <p>(イ) 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身に付けることを促す調査・相談(レファレンス)を実施する。国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に事例を登録することで、調べ方を発信していく。</p> <p>(ウ) 情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。</p> <p>(エ) 収集した資料を県民が利用し、さらなる資料を「創造」していく支援を行う。</p>	<p>実施状況及び成果、今後の課題等</p> <p>(ア) 令和4年8月から開始した、県立長野図書館単独の電子書籍閲覧サービス及び「市町村と県による協働電子図書館」(デジとしよ信州)について、資料を更新し引き続きサービスを提供した。</p> <p>地域資料については、これまでリストによるアナログ的な登録・管理を行っていた『国土地理院地形図』について、業務の効率化及び利用者サービスの向上を図るため電算登録を行うこととし、請求記号付与の基準作成と「入力・装備マニュアル」の一部改正を行い、1,079枚の受入登録を進めた。</p> <p>今後、利用者が探しやすいように、WebOPACからの検索方法などの案内をHPに掲載する予定。</p> <p>(イ) 令和7年度の調査相談件数は以下のとおり。引き続き調べ方を伝える丁寧な調査・相談に努めたい。</p> <p>【実績】</p> <p>令和7年度 10,096件 件(R8.3月末)</p> <p>令和6年度 6,012件</p> <p>(ウ) 令和7年度の相互貸借及びインターネット貸出の状況は以下のとおり。</p> <p>県民がどこからでも当館の資料を利用できるよう、ホームページにおける案内をわかりやすくするほか、様々な機会や媒体を活用して周知を図っていく。</p> <p>【実績】(R8.3月末時点)</p> <table border="1" data-bbox="1209 423 1383 990"> <thead> <tr> <th colspan="2">相互貸借</th> </tr> <tr> <th>貸出冊数</th> <th>借受冊数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年度</td> <td>3,174</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>2,896</td> </tr> <tr> <td></td> <td>152</td> </tr> <tr> <td></td> <td>346</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 戦後80年特別企画展示として、日中戦争以降、言論や思想の統制が強まっていく中で展開された「国民読書運動」と当館との関わりを示す、当</p>	相互貸借		貸出冊数	借受冊数	令和7年度	3,174	令和6年度	2,896		152		346
相互貸借													
貸出冊数	借受冊数												
令和7年度	3,174												
令和6年度	2,896												
	152												
	346												

実施状況及び成果、今後の課題等	<div data-bbox="167 1534 204 1713" style="text-align: center;">主要事業計画</div> <div data-bbox="242 1514 590 1774">  </div> <div data-bbox="643 1384 671 1942" style="text-align: center;">【これからの図書館フォーラム第1回に合わせた資料展示】</div> <div data-bbox="737 1146 772 2063" style="text-align: center;">(オ) 読書バリアフリーに資するサービスについて、分かりやすい広報を行う。</div>
<p>館所蔵図書、文書類による「読ませなかったもの」と読ませたかったもの一戦時下における『読書指導』を通して『知る自由』を考える』を実施(7月26日から9月25日まで)。関連して9月7日に早稲田大学和田敦彦教授による講演会『読者の歴史』から『知る自由』を考える』(令和8年度「これからの図書館フォーラム」第2回)を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信州・学び創造ラボ」で開催される企画にあわせ、関連するテーマの所蔵資料を展示し、参加者の希望に応じて学びを深められる機会を提供した。 <p>(オ) 1階児童図書室及び2階一般図書室に大活字図書、LLブック、拡大読書器等を配置した「りんごの棚」を設置している。 6月29日(日)に読書バリアフリー研修会「読書バリアフリーって何だろう？」を開催し、34名の参加があった。また、3月28日(土)に文部科学省主催の「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」に読書バリアフリー展示で協力予定。 サピエ図書館、国立国会図書館「みなさーち」などを活用した直接サービスについては、検討段階。</p>	



実施状況及び成果、今後の課題等	主要事業計画
<p>(ア)(イ)(ウ) 「信州・学び創造ラボ」を活用したコミュニティづくりの一環として、下記企画を実施した。</p> <p>実施した企画 《ラボカフェ》</p> <p>#26 ラボで何する？久しぶりにみんなで話そう(R7.12.20)参加者：9名 #27 アナログゲームで遊びませんか？(R8.1.23)参加者：5名 #28 木製ボードゲームで遊んでみる会(R8.2.28)参加者：13名</p> <p>《モノコトベース》 オープンデー(12回) オリジナルラブライラカードワークショップ(23回)</p> <p>《わかさとクエスト》(令和7年5月4日開催) 若里公園近隣に所在する信州大学、ホクト文化ホール、テレビ信州、長野シルバー人材センター(若里公園指定管理者)、県立長野図書館、「こどものモール」などが連携し、ゴールデンウィーク中に「近場で見つける遊びと文化の宝探し」をテーマに、各機関の特徴を活かした様々な催しを実施。当館は、他館招聘イベントの会場として「信州・学び創造ラボ」を提供したほか、バックヤードツアー、「図書館探検大作戦」、公園内謎解きゲームのゴール場所として景品提供等を実施。(景品交換数325) 令和8年度は5月2日に開催予定。</p> <p>《モノコトフェス》(令和7年12月14日開催) モノコトベース発のコミュニティが主体となった実行委員会により開催。ハイテクから手作り品まで、幅広いジャンルの自作品の展示・発表を実施。参加人数は約180人。 当館はウッドチャーム作成、ボードゲーム体験コーナーを実施。</p>	<p>(2)空間の整備と、それに伴う多様な活動の推進</p> <p>(ア)「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニティづくりを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。</p> <p>(イ)試行錯誤ができる「学びのツール」として、「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな学びの仕組みを拡げていく。</p> <p>(ウ)実空間と情報空間を融合させ、ICT を活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【わかさとクエスト】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【モノコトフェスでのボードゲーム体験会】</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>【モノコトフェス #2】</p> </div>

<p>主要事業計画</p>	<p>実施状況及び成果、今後の課題等</p>
<p>(工) 図書館を、「新しい出会いと発見が促される場」と位置付け、1階児童図書室、2階一般図書室における新しい発見・学びのプログラムを展開する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【2階：一般図書室展示の一部】</p> <p>【1階：児童図書室展示の一部】</p>	<p>「わかさとクエスト」「モノコトフェス」とも、従来の「図書館＝読書の場」というイメージを持つ来館者層以外の来館を呼び込み、再度の来館にもつながっている。</p> <p>(工) 児童・YA世代の学びの場としての機能の充実を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職場体験や高校の授業における「探究学習」で利用において、図書館の利用案内やレファレンス等で、探している情報を手渡すだけでなく、図書館の使い方や図書にとらわれない情報の調べ方を伝えることができた。 ・児童図書室設置のアナログゲーム(積み木・ボードゲーム・カードゲーム等)を充実することに加え、座って気軽にゲームを試せるようにパレットを設置するなど、様々な体験や交流が生まれる環境の整備を行った。 ・夏休み期間には毎年恒例の「ナツとしょ」として、子どもたちが館内を巡って謎を解くプログラムやバックヤードツアーを実施した。 ・図書室内展示は、利用者の「知りたい」を引き出し、新たな世界の再発見につながることを意識して、多様な問いかけを埋め込んだり、標本や天秤といった本以外の道具を合わせて展示するなど工夫した。 ・これまで児童図書室内での利用に限られていたアナログゲーム類について、「信州・学び創造ラボ」など館内の他フロアでの利用や、県内の市町村立図書館・学校図書館でも活用してもらえよう、電算登録を行い、貸出に対応できる体制を整備している。 ・この「体験の貸出」の取組は、図書館における情報資源収集・提供の選択肢を増やし、利用者が情報と出会う可能性を増やすものと位置付けており、今後市町村立図書館等にも周知を進め、実施を検討する館に対し相談対応や貸出等の支援を行っていく。

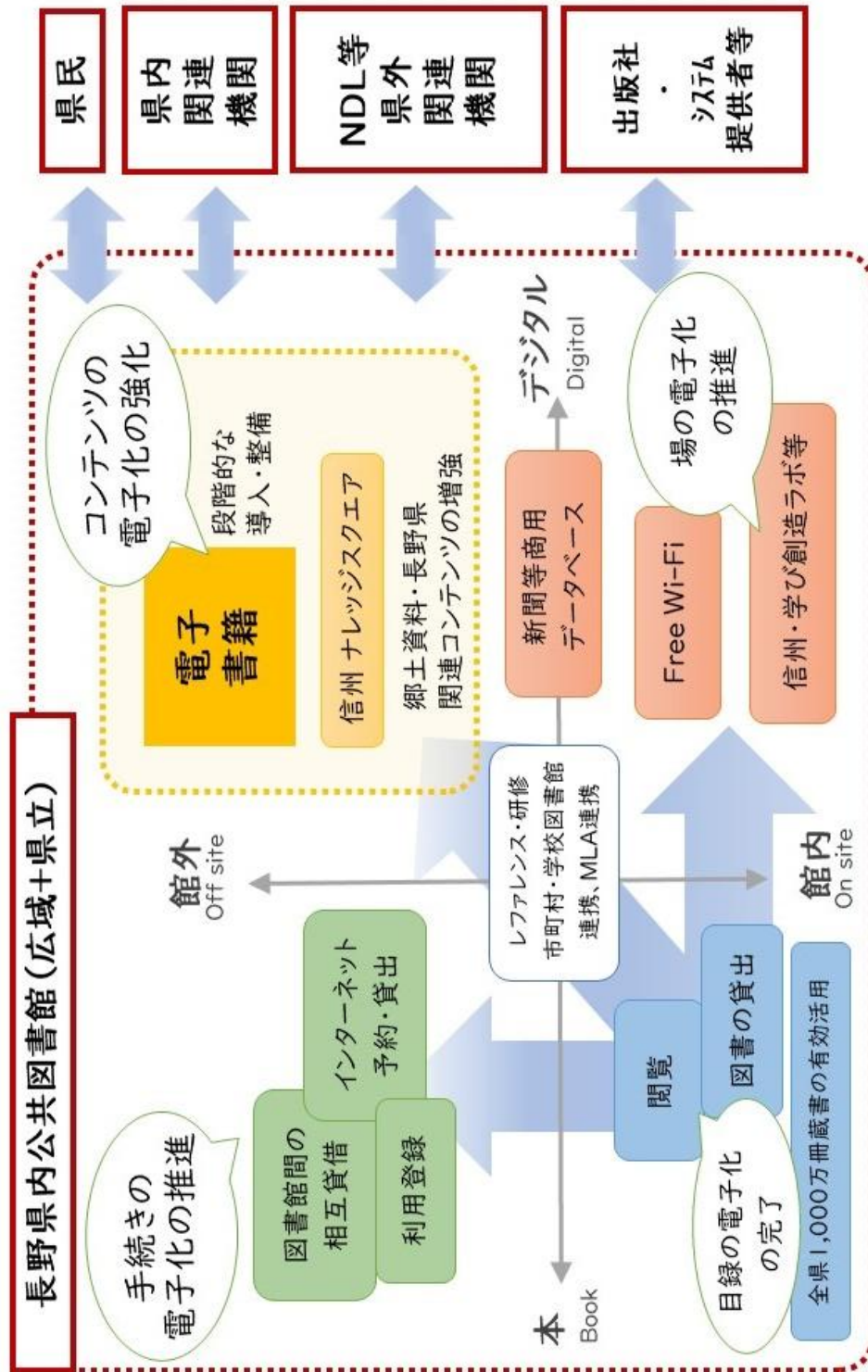
主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
<p>(3)各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援</p> <p>(ア)司書としての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組む、各館の運営に活かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。</p> <p>(イ)広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援(企画相談、講師派遣・紹介等)や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押</p> <p>(ウ)広く社会教育に関わる分野や全国の取組を俯瞰したテーマ設定のもと、県民の学びを創発する機会として「信州発・これからの図書館フォーラム」等を開催する。</p>	<p>(ア) 図書館職員の中堅研修に位置づける「これからの公共図書館研究会」について、前年同様3部門を設け、県内公共図書館関係者が計7回のオンライン研究会を開催した。</p> <p>現場での課題を持ち寄り、研究・検討し、情報交換を行うフラットな場として定着している。オンライン開催方式により、フレキシブルで地域・立場を問わない積極的な参加が実現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の方向性検討 今年度の開催なし ・学びのプログラム・学校連携 4回 ・資料活用・レファレンス 3回 <p>初任者研修(講義)を令和元年度以来となる当館での集合形式で実施。</p> <p>初任者研修(レファレンス実習)は、会場を提供していただいた図書館を含めた県内4地区で開催した。(諏訪市、塩尻市、佐久穂町、県立長野) 林業総合センターが主催する「林業士入門講座」と今年度も連携し、講座の一部を担当した。(平成29年度以降継続して実施)</p> <p>(イ)北信、中信地区の公共図書館・公民館図書室等の連絡協議会にオブザーバーとして参加。また、「長野県政 出前講座」を活用した、中高飯水図書館協会による小中学校の図書館教育主任と図書館司書(事務職員)を対象にした研修会で情報検索の方法に関する講師を担当。</p> <p>(ウ)「これからの公共図書館フォーラム」の新たな展開として、県内外、図書館界内外に開かれたテーマを計画、実施。会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式で開催した。</p> <p>開催実績</p> <p>第1回 「地域の読書環境をもっと豊かに! — 読者 × 書店 × 図書館 × ∞」(5月14日)</p> <p>第2回 『読者の歴史』から『知る自由』を考える』(戦後80年特別企画 展示関連講演会)(再掲 9月7日)</p>

実施状況及び成果、今後の課題等	主要事業計画
<p>第3回「子どもの読書活動推進の担い手と可能性を考える」 (2月22日)</p> <p>(工)「信州・知の連携フォーラム」第9回を開催(開催当番館:長野県立歴史館) 【テーマ】『感性を育てる試み～学校教育との連携～』 社会全体でデジタル化が進行するなかで、実際の展示物を活用して学校教育と連携し、感性を育てる活動を行っている美術館・博物館による実施報告が行われた。</p>	 <p>【信州発・これからの図書館フォーラム第1回】</p> <p>(工)信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていくことを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。</p>
<p>(ア)図書館業務システム及び信州ナレッジスクエア、ホームページについて、リリース契約満了とWindows10のサポート切れに伴う端末等入替に合わせ、令和7年11月1日に更新を行った。この更新による主な変更点は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「図書館業務システム」クラウドサービスへの移行 「信州ナレッジスクエア(信州デジタルコモンズ)」DOI導入に向けた改修 <p>・「信州デジタルコモンズ」のコンテンツに永続的なアクセスを保障するため、の仕組みであるDOI(Digital Object Identifier)を登録するため、日本においてその登録及び管理を行う登録機関である「ジャパンリンクセンター」に正会員として入会した。今後、「信州デジタルコモンズ」のコンテンツに対するDOI登録を進めていく。</p>	<p>(4)「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進</p> <p>(ア)図書館機能の高度化の方策として、県内各種機関所蔵情報のデジタル化・公開支援、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化、これらを融合し使いこなす学びのネットワーク化を推進する。</p>

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
<p>(イ)自ら学び、調べるためのコンテンツとして、地域資料(郷土資料)を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充するとともに、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。</p> <p>(ウ)市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」によって、読書バリアフリー、学校と連携した活用、地域史料(郷土資料)の電子化・公開を進める。</p>	<p>(イ)令和5年度から開始した所蔵資料デジタル化事業によりデジタル化した郷土資料のうち著作権満了の確認ができた226点について「信州デジタル commons」で公開した。令和6年度にデジタル化した150点についても、現在、著作権調査及び公開準備を進めている。また令和7年度も、大正期から昭和戦前期までの郷土資料150点のデジタル化を外部委託により実施した。引き続きオンラインで利用できる情報資源の充実に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに駒ヶ根市立東伊那公民館が「信州デジタル commons」の登録機関となった。区誌編さんに向けたコンテンツの登録作業にあたっては、当館職員もサポートを行っている。 ・当館職員が講師となり、県内図書館職員や学校司書等を対象とした「デジタルアーカイブ研修」を県立長野図書館と池田町図書館を会場に2回実施した(長野県図書館協会ステップアップ研修)。デジタルアーカイブに関する座学や「信州デジタル commons」に資料を登録するための実習、意見交換等を通じて、各館の地域資料を保存・活用するための可能性について考える機会となった。 ・第1回:2月4日(水)13:30~16:30 県立長野図書館 参加人数10名 ・第2回:2月13日(金)13:30~16:00 池田町交流センターかえで 参加人数28名 <p>信州デジタル commons コンテンツ数(R8.3月末時点) インターネットで閲覧可能なコンテンツ数 5,614点 二次利用可能なコンテンツ数 4,854点</p> <p>(ウ)市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」を継続して提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「デジとしよ信州」運営状況(R8.3月末時点) 【利用登録者数】36,834名(全ての市町村に利用登録者がいる) 【蔵書数】計23,659冊(R8.3月末時点) うち、購入(有償)コンテンツ計12,388冊(R8.3月末時点)

実施状況及び成果、今後の課題等	<div data-bbox="169 1532 204 1711" style="text-align: center;">主要事業計画</div> <div data-bbox="304 1612 572 2096">  </div> <div data-bbox="609 1684 671 2018" style="text-align: center;"> <p>【市町村と県による協働電子図書館 「デジタルしよ信州」】</p> </div> <div data-bbox="304 1162 620 1594">  </div> <div data-bbox="641 1218 671 1561" style="text-align: center;"> <p>【県立長野図書館電子書籍サービス】</p> </div>
<p>【貸出数】353,494冊 年代別利用状況：10代(39%)、50代(12%)、40代(12%) 【学校連携】学級・学年単位等で登録した県立高等学校 7校 ・「県立長野図書館電子書籍サービス」運営状況(R8.3月末時点) 【蔵書数】2,619冊 【閲覧数】5,834回 (1冊あたり閲覧平均 2.23回)</p>	

「長野県 eLibrary 計画」概念図



Ⅲ 統計資料(令和7年度実績)

1 利用状況

(1)入館者数及び開館日数

(単位:人)

項 目	令和7年度 (279日)	令和7年度						令和6年度 (279日)	
		平日 (178日)		土日 (93日)		祝日 (8日)			
		利用者数	1日平均	利用者数	1日平均	利用者数	1日平均		
入館者数	344,102	210,421	1,182	122,454	1,317	11,227	1,403	305,941	
参考	会議・施設見学等※	4,678	2,958	17	1,689	18	31	4	5,677
	一般図書室	103,333	61,914	348	37,810	407	3,609	451	105,551
	児童図書室	72,554	36,397	204	33,961	365	2,196	275	65,066
	信州・学び創造ラボ	108,060	58,991	331	43,722	470	5,347	668	105,597
	会議室	45,778	24,556	138	19,371	208	1,851	231	47,281

注:()内は開館日数。平成23年度から祝日開館実施。(土日の祝日も含む。)

※会議・施設見学等について、オンライン開催含む。

(2)登録者の状況

(単位:人)

項 目	新規登録者		登録者累計(令和7年度末)				
	令和7年度	令和6年度	総数	男	女	計	
総 数	3,248	2,713	総数	45,594	63,689	109,283	
内 訳	一 般	2,679	2,100	一 般	43,173	61,017	104,190
	児 童	569	613	児 童	2,421	2,672	5,093

インターネットサービス登録者

(単位:人)

項 目	登録者		登録者累計(令和7年度末)		
	令和7年度	令和6年度	一般	児童	総数
総 数	460	367	4,598	177	4,775

※児童は15歳以下、一般は16歳以上

(3)インターネット予約貸出の状況

(単位:件、冊)

項 目	令和7年度		令和6年度	
	件 数	冊 数	件 数	冊 数
当館受取	1,414	3,478	1,389	3,398
指定館受取	673	1,932	752	2,069
計	2,087	5,410	2,141	5,467

(4)資料の貸出状況

(単位:冊)

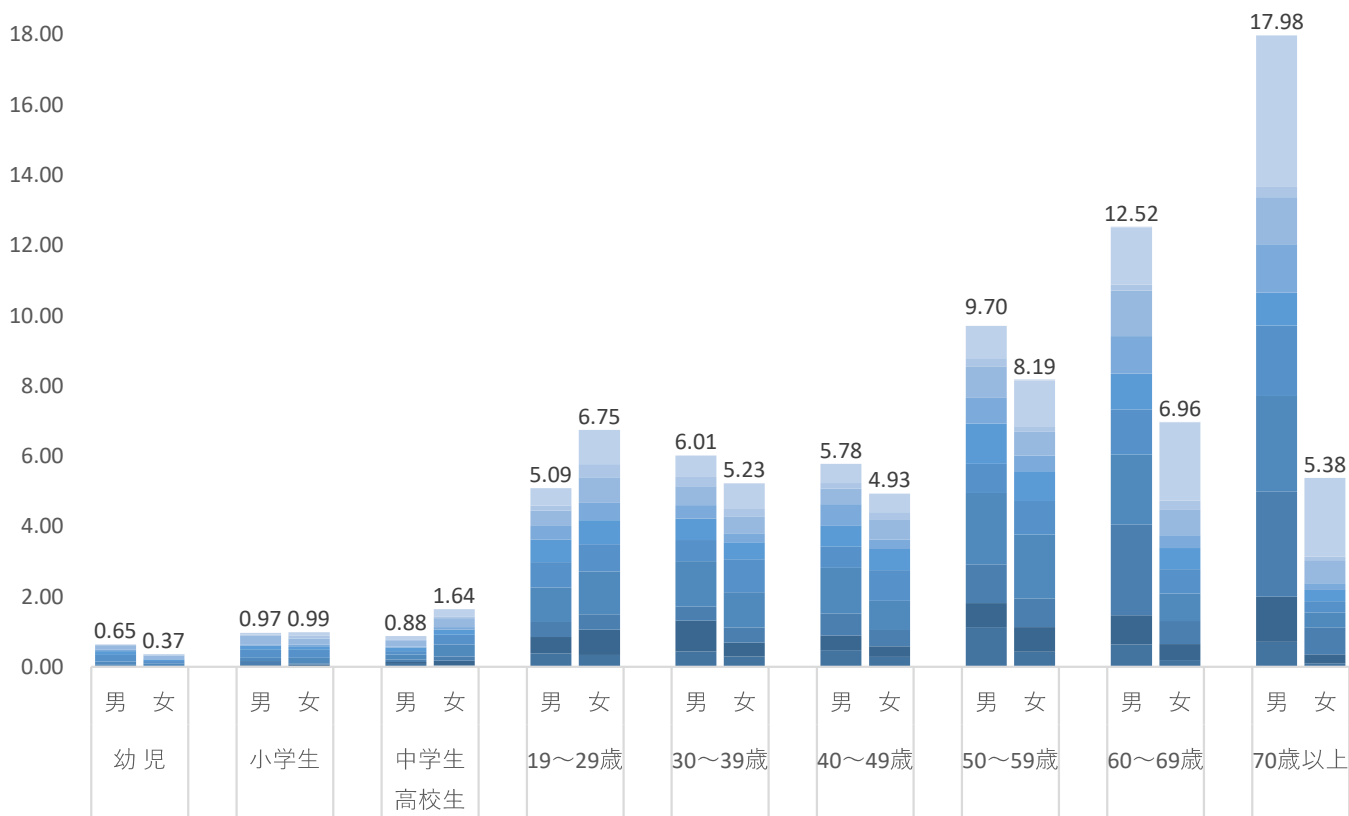
項 目	令和7年度			令和6年度		
	一般図書	児童図書	合計	一般図書	児童図書	合計
総 数	41,391	45,328	86,719	42,515	46,282	88,797
0総記	2,335	344	2,679	2,476	323	2,799
1哲学	3,174	515	3,689	3,512	580	4,092
2歴史	4,989	1,546	6,535	4,825	1,244	6,069
3社会科学	7,155	1,227	8,382	7,576	1,269	8,845
4自然科学	4,844	3,499	8,343	5,355	3,417	8,772
5技術	3,768	1,431	5,199	3,838	1,428	5,266
6産業	2,814	541	3,355	2,816	641	3,457
7芸術	4,081	2,022	6,103	3,984	2,143	6,127
8言語	1,157	607	1,764	1,000	590	1,590
9文学	7,042	5,851	12,893	6,993	6,583	13,576
E(絵本)	0	27,580	27,580	0	28,031	28,031
その他	32	165	197	140	33	173

令和7年度 図書一般 延べ貸出冊数 41,391冊に対する年齢層別・分類別シェア

(単位：冊)

年齢	性別	分類											計
		総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	
幼児	男性	9	5	9	38	78	47	15	44	15	7	0	267
	女性	1	6	3	32	27	19	6	41	9	8	0	152
小学生	男性	14	7	47	38	95	50	13	108	9	20	0	401
	女性	9	18	17	62	94	36	26	71	38	39	0	410
中学生 高校生	男性	35	24	30	55	43	40	12	74	4	45	0	362
	女性	16	58	47	144	113	59	32	104	17	90	0	680
19～29歳	男性	158	194	177	407	298	264	161	182	60	205	0	2,106
	女性	140	299	180	506	319	286	202	303	152	405	0	2,792
30～39歳	男性	181	362	167	534	249	253	159	221	113	250	0	2,489
	女性	123	163	181	414	389	197	106	202	86	301	2	2,164
40～49歳	男性	199	171	258	538	251	250	248	188	62	226	0	2,391
	女性	117	127	192	342	361	250	110	240	85	217	0	2,041
50～59歳	男性	468	282	459	838	346	474	300	365	105	379	0	4,016
	女性	178	292	334	754	397	352	183	280	56	544	18	3,388
60～69歳	男性	265	345	1,064	825	532	424	442	535	71	673	8	5,184
	女性	81	188	271	326	286	247	150	298	110	924	1	2,882
70歳以上	男性	297	530	1,238	1,126	830	388	569	553	123	1,784	3	7,441
	女性	44	103	315	176	136	132	80	272	42	925	0	2,225
計	男性	1,626	1,920	3,449	4,399	2,722	2,190	1,919	2,270	562	3,589	11	24,657
	女性	709	1,254	1,540	2,756	2,122	1,578	895	1,811	595	3,453	21	16,734
	男女計	2,335	3,174	4,989	7,155	4,844	3,768	2,814	4,081	1,157	7,042	32	41,391

20.00 令和7年度 図書一般 延べ貸出冊数 41,391冊に対する年齢層別・分類別シェア (%)

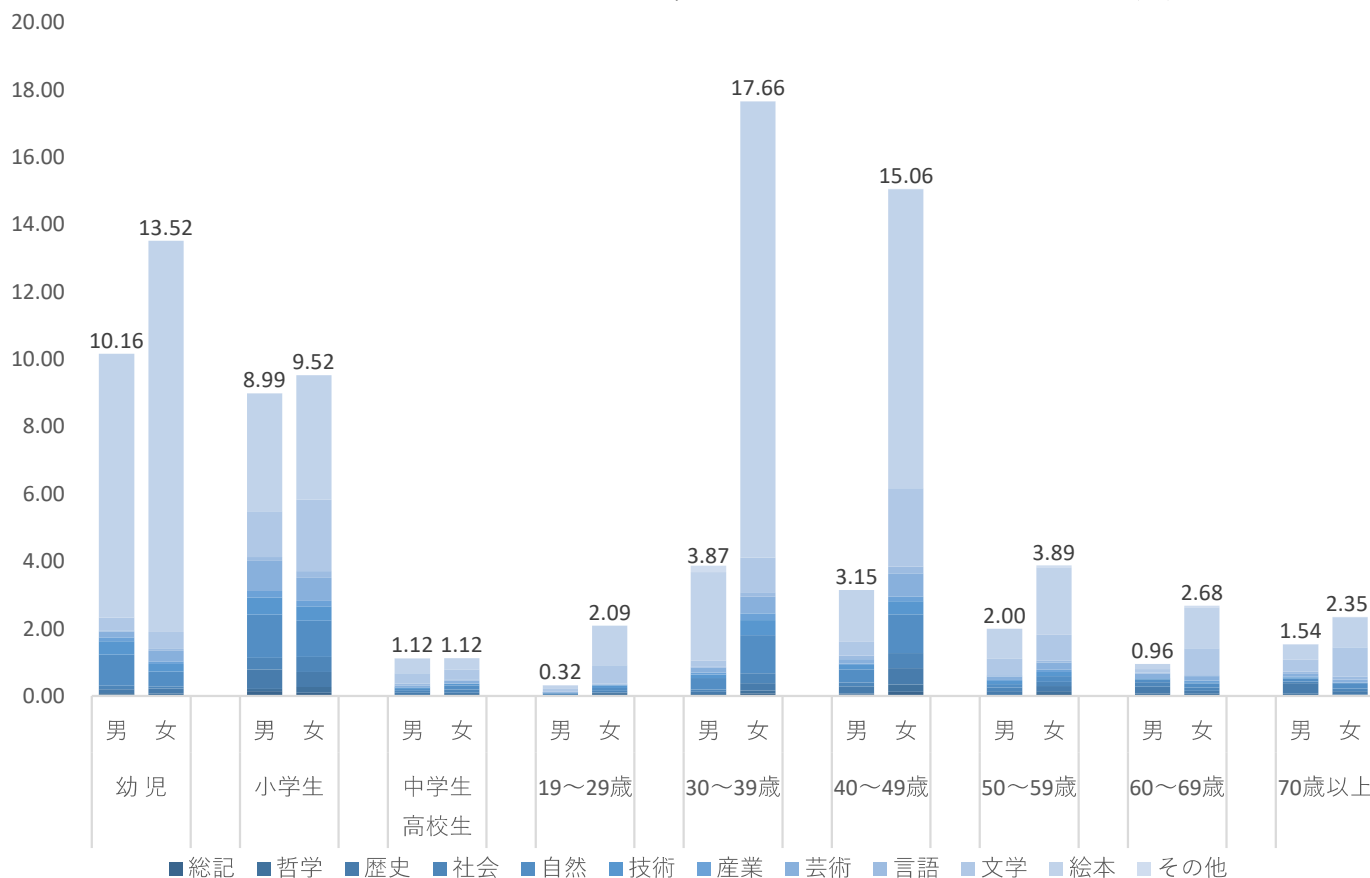


令和7年度 図書児童 延べ貸出冊数 45,328冊に対する年齢別・分類別シェア

(単位：冊)

年齢	性別	分類												計
		総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	その他	
幼児	男性	20	21	52	47	418	182	51	78	15	172	3,550	0	4,606
	女性	13	21	68	29	196	106	34	141	28	228	5,265	0	6,129
小学生	男性	65	32	262	154	581	231	88	405	54	617	1,586	1	4,076
	女性	43	78	203	202	486	195	72	312	91	961	1,674	0	4,317
中学生 高校生	男性	6	7	33	25	26	16	1	30	28	138	197	2	509
	女性	8	17	21	43	55	19	7	39	18	130	151	0	508
19～29歳	男性	0	3	6	25	9	3	2	2	7	41	44	3	145
	女性	4	36	10	21	37	34	9	7	12	246	529	4	949
30～39歳	男性	9	19	29	32	152	47	26	72	8	87	1,186	88	1,755
	女性	34	41	98	135	511	204	90	226	59	467	6,136	5	8,006
40～49歳	男性	22	13	97	48	177	63	16	60	49	186	695	0	1,426
	女性	56	101	220	201	521	176	63	315	89	1,057	4,023	2	6,824
50～59歳	男性	4	8	54	49	46	44	10	49	19	218	404	0	905
	女性	26	39	71	54	79	57	28	95	28	345	910	29	1,761
60～69歳	男性	6	28	92	60	41	11	7	57	15	45	71	0	433
	女性	13	17	41	43	55	18	21	60	14	362	551	21	1,216
70歳以上	男性	5	26	142	24	37	18	13	35	31	156	207	5	699
	女性	10	8	47	35	72	7	3	39	42	395	401	5	1,064
計	男性	137	157	767	464	1,487	615	214	788	226	1,660	7,940	99	14,554
	女性	207	358	779	763	2,012	816	327	1,234	381	4,191	19,640	66	30,774
	男女計	344	515	1,546	1,227	3,499	1,431	541	2,022	607	5,851	27,580	165	45,328

令和7年度 図書児童 延べ貸出冊数 45,328冊に対する年齢別・分類別シェア (%)



(5) 書庫資料の利用状況

(単位:冊)

項目	令和7年度				令和6年度			
	一般資料	郷土資料	児童資料	合計	一般資料	郷土資料	児童資料	合計
総数	9,736	6,024	4,694	20,454	9,361	9,058	3,946	22,365
0総記	352	43	20	415	370	25	17	412
1哲学	599	40	53	692	619	32	30	681
2歴史	1,321	1,382	76	2,779	1,110	1,444	73	2,627
3社会科学	1,193	586	85	1,864	1,215	583	36	1,834
4自然科学	485	76	153	714	370	69	139	578
5技術	434	109	101	644	449	105	57	611
6産業	237	135	51	423	252	178	32	462
7芸術	602	99	202	903	583	74	177	834
8言語	97	5	83	185	86	3	47	136
9文学	2,443	90	1,236	3,769	2,197	97	1,184	3,478
E(絵本)	0	0	2,628	2,628	0	0	2,142	2,142
新聞・雑誌他	1,973	3,459	6	5,438	2,110	6,448	12	8,570

(6) データベースの利用および複写の状況

(単位:人、枚、回)

項目	令和7年度				令和6年度			
	利用者数※4	複写枚数	ログイン回数 ※5	検索回数 ※6	利用者数	複写枚数	ログイン回数	検索回数
電子複写機	1,976	23,847			2,359	27,737		
マイクロフィルム	6	36			12	254		
官報情報検索	11	24	—	—	7	93	—	—
法情報総合データベース	22	275	64	226	11	271	96	136
信濃毎日新聞データベース※1	371	2,378	938	22,344	393	2,093	1,442	25,232
朝日クロスサーチ※2	48	203	255	—	58	123	333	—
日経テレコン21	22	68	—	—	44	180	—	—
毎索	32	69	112	334	35	34	124	324
ヨミダス	86	165	192	751	106	41	163	386
中日新聞・東京新聞記事データベース	45	77	68	1,516	42	21	57	1,405
J-DreamⅢ	14	171	44	145	20	357	45	159
ジャパンナレッジ	8	0	210	1,747	7	10	237	1,673
ルーラル電子図書館	2	77	35	279	2	0	47	206
国立国会図書館デジタルコレクション	166	5,708			129	958		
信州デジタルcommons	1	0			0	0		
その他	1	1			3	90		
写真撮影	33	—			39	—		
郵送複写	62	842			87	1,596		
他館所蔵資料複写取次※3	12	16件			13	23件		

※1 令和3年4月から信濃毎日新聞のログイン数と検索回数を記載。

※2 ログイン回数はアクセス数超過を含む。

※3 他館へ依頼しているため、申込枚数ではなく申込件数。

※4 利用者数には複写をしていない利用者を含む。

※5・6 ログイン回数と検索回数は、当館利用者と職員による回数を含む。

(7) 相互貸借の利用状況

ア 相互貸借の状況

(単位：冊)

区 分		令和7年度			令和6年度		
		貸出冊数	借受冊数	合計	貸出冊数	借受冊数	合計
合 計		3,138	152	3,290	2,859	346	3,205
県 内	公共図書館	1,601	96	1,697	1,536	220	1,756
	公民館図書室	204	0	204	260	0	260
	学校図書館	1,212	9	1,221	963	21	984
	計	3,017	105	3,122	2,759	241	3,000
県 外	公共図書館	115	46	161	98	89	187
	学校図書館	6	1	7	2	16	18
	計	121	47	168	100	105	205

※相互貸借の対象機関は公共図書館・大学図書館・県内所在の高校図書館・公共図書館未設置自治体における公民館図書室および学校図書館。

イ 送料の支援状況

(単位：件)

区 分		令和7年度			令和6年度		
		貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県 内	計	1,037	871	1,908	1,146	934	2,080
	公共図書館	689	567	1,256	806	626	1,432
	公民館図書室	107	93	200	84	79	163
	学校図書館	241	211	452	256	229	485

※公共図書館、図書館未設置町村の公民館図書室及び小・中学校、公立・私立高等学校等、大学は往復送料を当館が負担。
 その他の学校図書館は、往路分の送料を負担している。
 ※県外の相互貸借については、依頼した施設が送料負担となる。

(8) 団体貸出の利用状況

ア 団体貸出の状況

区分	令和7年度	令和6年度
件数	16	12
貸出冊数	36	37

イ 送料の支援状況

区 分	令和7年度			令和6年度		
	貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県内の対象機関	15	0	15	10	3	13

※団体貸出の対象機関は議会図書館・県内博物館及び美術館・病院図書館・長野県の組織及び機関・その他館長が認めた団体。

(9)マイクロフィルムの利用状況

項目	令和7年度	令和6年度
利用件数	6	12
利用本数	11	27

(単位:件、本)

(10)インターネット端末の利用状況(設置台数 PC:2台 タブレット:4台)

項目		令和7年度	令和6年度
利用者数	PC	1,212	1,150
	タブレット	1,451	1,467

(単位:人)

(11)複製物・デジタルコンテンツ使用の許可状況

図書館資料を複製した場合の二次利用については、令和2年度から当館への申請は不要としている。
また、「信州デジタルコモンズ」に掲載している当館所蔵資料については、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CCライセンス)を付与しているため、ライセンス条件の範囲内で自由に二次利用することができる。

(12)ホームページのアクセス状況

県立長野図書館のホームページ(<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>)へのアクセス状況

(単位:件、%)

項目	令和7年度	令和6年度	対前年度比(%)
トップページ	194,477	173,938	111.8
県立長野図書館の情報	9,334	11,324	82.4
本・情報をさがす	34,380	34,150	100.7
レファレンスサービス	1,766	1,280	138
県立長野図書館を活用する	14,419	16,297	88.5
利用案内	18,249	15,929	114.6
つながる信州の図書館	7,174	7,648	93.8
信州ナレッジスクエア トップページ	60,820	61,895	98.3
Shinshu Book Search (長野県内図書館横断検索)	227,125	142,955	158.9
信州デジタルコモンズ	80,414	94,758	84.9

※2025年11月、図書館システム更新およびホームページ変更。

2 図書館資料の状況

(1) 図書資料購入及び蔵書の状況

(単位:冊)

	令和7年度					令和6年度
	蔵書冊数	開架冊数	増加数	受入数	除籍	蔵書冊数
0 総記	35,991	7,384	355	356	1	38,006
1 哲学	30,838	7,154	307	307	0	32,131
2 歴史	67,660	7,228	1,028	1,032	4	74,513
3 社会科学	119,721	12,651	1,511	1,512	1	127,022
4 自然科学	41,066	9,968	696	697	1	41,405
5 技術	41,392	7,592	618	618	0	41,995
6 産業	34,011	5,755	565	565	0	33,560
7 芸術	38,800	7,324	626	626	0	39,911
8 言語	10,212	2,413	107	107	0	8,856
9 文学	94,008	10,636	478	481	3	129,499
外国語図書※1	2,071	0	0	0	0	2,865
郷土図書	120,864	14,222	6,037	6,051	14	114,429
児童図書	97,391	20,461	2,084	2,097	13	100,243
過年度分※2	—	—	—	—	64,822	—
計	734,025	112,788	14,412	14,449	64,859	784,435

※1:一般図書と児童図書に分類される資料の合計値

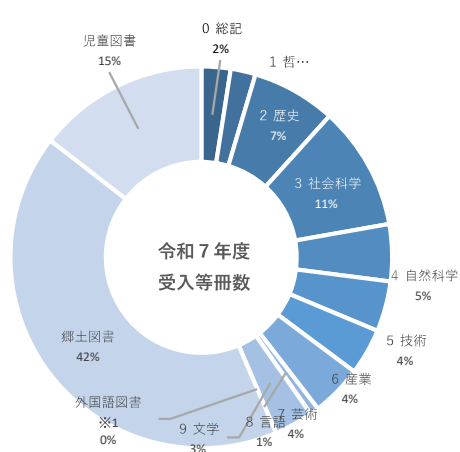
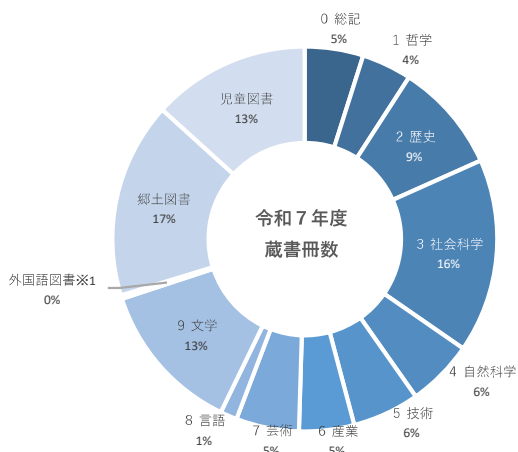
※2:R7.10のシステム更新に伴い、過去に除籍したもののシステムに残っていた資料データを削除

<令和7年度図書資料等の内訳>

(単位:冊)

	一般図書			郷土図書			児童図書		
	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍
0 総記	258	98	1	21	138	0	38	1	0
1 哲学	257	50	0	26	50	0	24	0	1
2 歴史	629	403	4	326	1,023	1	272	3	1
3 社会科学	1,172	340	1	173	941	12	168	16	1
4 自然科学	569	128	1	75	221	0	181	32	1
5 技術	383	235	0	63	319	1	81	14	0
6 産業	427	138	0	72	331	0	67	4	0
7 芸術	379	247	0	205	411	0	682	50	8
8 言語	87	20	0	6	21	0	61	0	0
9 文学	320	161	3	251	280	0	347	19	1
地形図	—	—	—	1,098	0	0	—	—	—
体験グッズ	—	—	—	—	—	—	34	3	0
計	4,481	1,820	10	2,316	3,735	14	1,955	142	13

※絵本は「7芸術」に含める



(2)新聞・雑誌の所蔵状況

令和7年度受入タイトル数

(令和8年3月31日現在)(単位:種)

項目	一般		郷土		児童		外国語	計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈		購入	寄贈	
新聞	11	30	21	23	1	0	1	33	53	86
雑誌	128	203	65	331	12	1	4	209	534	743
追録	4	0	3	0	0	0	0	7	0	7

(3)貴重資料コレクション

近世(江戸時代)の信濃に関する典籍等(主に俳書)が収められている。

名称	点数	説 明
関口文庫	192	関口彦一郎(1879～1958)収集の信濃関係俳諧書資料で、小林一茶・茂呂何丸・加舎白雄・宮本天姥・倉田葛三・井上井月ら信濃の代表的俳人及び善光寺俳壇の俳書を収める。
威徳院文庫	76	林亮順(1868～1941)が収集した信濃関係俳書を収める。宮本天姥・倉田葛三・今井柳荘をはじめ、主として長野県北信地方の俳人の俳書が集められている。

(4)マイクロフィルム等の所蔵状況

新聞・郷土資料などをマイクロフィルム化することにより、原資料の劣化を防ぎ、閲覧や複写サービスの向上に努めている。

(*マイクロフィッシュは、シート状のフィルムに係資料が撮影されたもの。)

(令和8年3月31日現在)

		資料名		所蔵内容	フィルム数
マイクロフィルム	新聞	信濃毎日新聞		明治6年7月～平成25年12月	1,535
		" (欠号集)		明治8年5月～昭和27年12月	15
		朝日新聞		明治21年7月～平成25年12月	2,128
		" (長野県版)		昭和28年1月～平成25年12月	106
		毎日新聞		明治5年2月～平成25年12月	2,159
		" (長野県版)		昭和2年1月～平成25年12月	135
		読売新聞		明治7年1月～平成25年12月	1,830
		" (長野県版)		昭和8年5月～平成25年12月	151
		" (欠号集)		明治7年12月～昭和20年12月	38
	長野新聞		明治32年4月～大正9年12月	45	
		小計			8,142
	郷土	信濃教育		第1号(明治19年10月)～第780号(昭和26年12月)	33
		長野県統計書		明治6年～昭和12年	22
		府県資料長野県			3
		東大明治新聞雑誌文庫所蔵 長野県関係(明治大正)マイクロ版			31
		石坂家文庫			14
		内閣文庫所蔵筆記			1
		国文学資料館蔵関口文庫			8
		国文学資料館蔵威徳院文庫			2
		丸山文庫			59
		飯島文庫			19
		農商務省小作慣行調査報告		<中部編1>長野県	14
		日本林制史調査資料		中部 松代藩 1～5	5
		花月文庫			287
		明治年間府県統計書集成		明治8年～明治45年	10
		大正・昭和年間府県統計書集成		大正2年～昭和13年	12
	小計			520	
	その他	太政官日記		慶応4年～明治9年	11
官報			明治16年7月～平成25年12月	1,600	
信濃教育会図書館時代 特殊収集近世資料			国文学資料館所蔵分	10	
小計				1,621	
合計				10,283	
フィッシュ	郷土	プランゲ文庫雑誌コレクション 長野県関係	昭和20年～昭和24年 275タイトル	1,011	

(5)16ミリ映画フィルム等の所蔵状況

(単位:本)

項目	所蔵状況	貸出状況	
		令和7年度	令和6年度
16ミリ映画フィルム	2,260	3	0
ビデオテープ	3,035	0	0
DVD	179	0	0
※団体を対象に貸出(個人貸出不可)		3	0

IV 県立長野図書館協議会

1 概要

県立長野図書館協議会は、図書館法第14条及び県立長野図書館条例第3条の規定により設置され、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる。

2 令和7年度開催状況

○令和7年9月24日(水)

会議事項

「第5次長野県子ども読書活動推進計画」の実行に向けて

○令和8年3月18日(水)

会議事項

令和7年度主要事業及び主な利用実績について

令和8年度主要事業及び当初予算(案)について

長野県150周年記念イベントについて

デジとしよ信州の第2期継続に向けて

今後の蔵書構築の考え方について

3 委員名簿(令和8年3月31日現在)

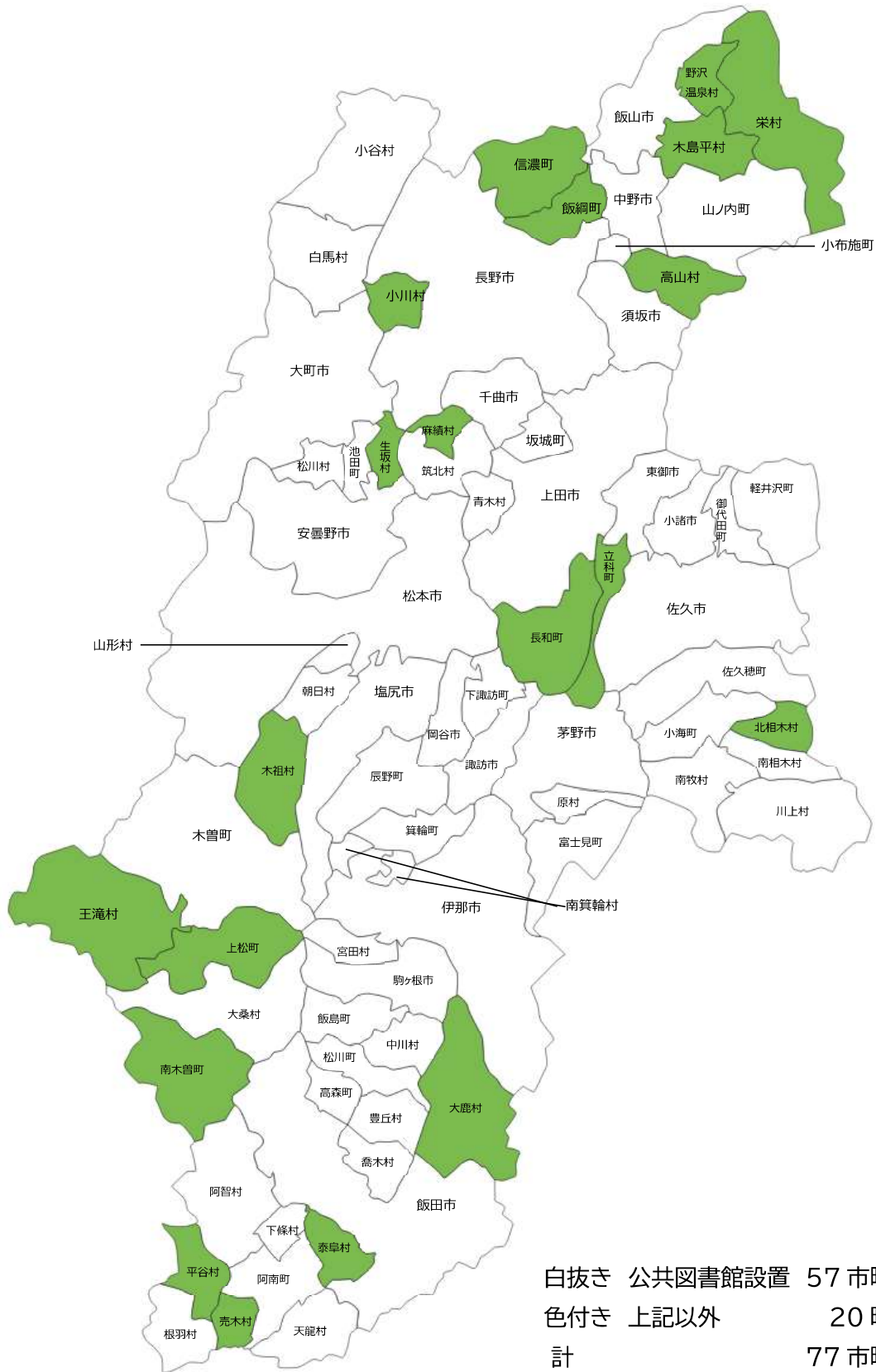
(敬称略、五十音順)

職	氏名	所属・職名等
会長	渡邊 匡一	信州大学人文学部 教授
委員	大林 晃美	NPO法人本途人舎 代表理事
	春日 由紀夫	駒ヶ根市立東伊那公民館 館長
	瀧本 明子	飯田市立中央図書館 館長
	田川 圭子	ライター、ナレーター
	田中 一樹	NPO法人 職員
	中村 仁志	中野市立平野小学校 教諭
	西山 卓郎	株式会社バリューブックス 社員
	庭井 史絵	青山学院大学教育人間科学部准教授
	松山 佳奈子	ゆめサポママ@ながのメンバー

(任期 令和7年1月1日から令和8年12月31日まで)

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況



令和8年4月1日現在

2 県立長野図書館の沿革

和暦	西暦	月	
明治40	1907	6	信濃教育会により信濃図書館が設置される
大正13	1924	12	信濃教育会による明治44年以來の県立図書館設置運動が実り、臨時県議会において昭和天皇御成婚記念事業として県立図書館設置が可決
昭和 4	1929	9	長野市長門町に県立長野図書館開館(工費24万円、3階建、延べ床面積2,397.78㎡) 信濃図書館の蔵書のほとんどが寄贈される 開館当初から個人貸出を行う
昭和 7	1932		「団体携出」の名称で、官公署・学校等へ団体貸出を開始(昭和26年発展的解消)
昭和 8	1933	10	改正図書館令により、長野県の中央図書館に指定される
昭和 9	1934	6	「県立長野図書館報」創刊(数回の改題を経て昭和19年に終刊)
昭和11	1936		県下青年を対象とした貸出文庫を設け、県内へ発送を始める
昭和14	1939	12	『県立長野図書館10年史』刊行
昭和18	1943	11	帝国図書館の蔵書疎開が行われ、約133,400冊もの貴重な資料が翌年まで当館に保管される(昭和21年3月返戻)
昭和20	1945	3	書庫・事務室・館長室以外を長野高等女学校の学校工場(陸軍被服廠縫製工場)に使用するため、館内閲覧中止(翌昭和21年4月再開)
昭和24	1949	11	「第1回長野県図書館普及運動」を開催
昭和25	1950	12	「県立長野図書館条例」公布施行 「PTA母親文庫」を創設
昭和26	1951	3	図書館協議会が発足 「第1回長野県図書館大会」開催(上田市)
昭和34	1959	9 11	「本を読む母親の全国大会」開催(長野市) 創立30周年、『県立長野図書館三十年史』刊行
昭和36	1961	10	2課制から4課制になり、調査相談課が設置される
昭和37	1962	3	新書庫が建設され、収容冊数が7万冊から約15万冊へ増加する
昭和39	1964	9	小冊子『調査相談の事例』刊行、配布
昭和42	1967	9	複写サービスを開始 マイクロフィルムを導入
昭和44	1969	10	「全国図書館大会」開催
昭和52	1977	10	『長野県郷土資料総合目録』を刊行
昭和54	1979	8	創立50周年、長野市若里へ新館を建設し移転 工費16億7千万円、地下1階地上3階建、延べ床面積8,614㎡ 旧館の魯桃桜9本も移植される
昭和56	1981	2	『県立長野図書館五十年史』刊行
平成 3	1991		館内改修工事を行い、郷土資料室を解体し閲覧室に資料を移動、空いた元郷土資料室は貸出室・親子読書室へ変更
平成 5	1993	3	電算システム導入(受入、貸出、検索、資料情報管理等)
平成 6	1994		古文書約15,000点を長野県立歴史館へ移管
平成12	2000		「第30回児童に対する図書館奉仕全国研究集会」開催
平成13	2001		コイン式コピー機を導入
平成14	2002	2	当館ホームページ開設、WebOPAC(インターネット上の蔵書検索)稼働
平成15	2003	2	「PTA母親文庫」を改めた「長野県PTA親子読書推進の会」発足(平成26年3月31日解散)
平成16	2004	2 5 7	外国籍住民のための外国語資料(ブラジル・中国・韓国・フィリピン・タイ)の受入・貸出を開始 組織改正が行われ、4課制(総務課・整理課・調査閲覧課・貸出視聴覚課)から3課制(総務課・企画協力課・資料情報課)となる // 移動絵本図書館車「おはなしぱけっと号」を導入(平成21年事業終了) 7 貸出対象図書を27万冊から47万冊へ拡大し、児童図書室、一般図書室を設置

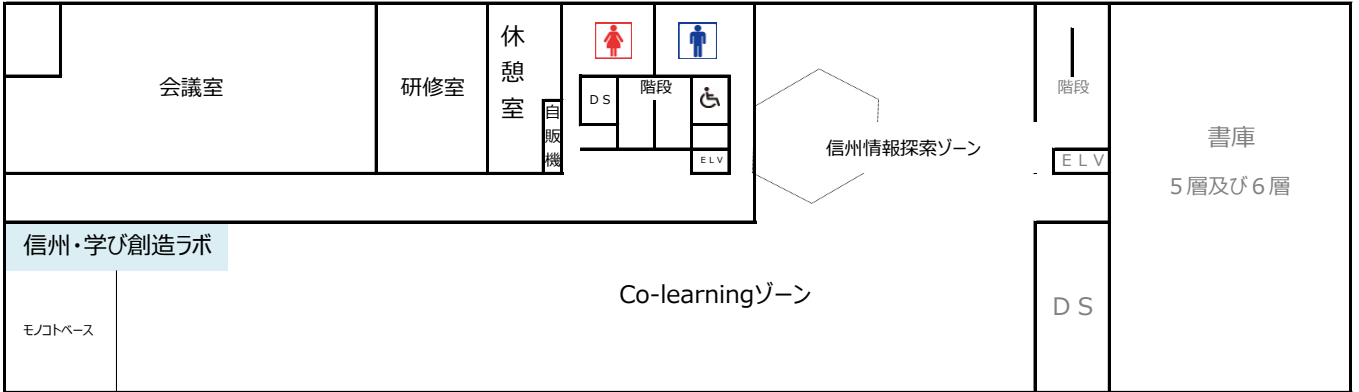
和暦	西暦	月	
平成17	2005	4	国立国会図書館「レファレンス協同データベース事業」へ本格参加
平成18	2006	2	『県立長野図書館メールマガジン』創刊(平成28年1月配信停止)
		6	「信濃毎日新聞アーカイブス」(現「信濃毎日新聞データベース」)導入
平成19	2007	12	「官報情報検索サービス」導入
平成21	2009	3	インターネット予約貸出サービス開始 長野県内公共図書館横断検索システム導入
		9	耐震診断実施
平成22	2010	4	「コーラル文庫」開設(平成29年児童室改修に伴い分散配架)、「信州デジくら」(R2.4.1「デジタルコモンズへ移行」)運用開始
平成23	2011	4	祝日開館を試行実施
			「第一法規判例体系データベース」(現「法情報総合データベース」)導入
		12	館内の冷暖房設備を全面改修
平成24	2012	4	祝日開館を実施
		6	「関東地区公共図書館協議会総会及び研究発表大会」開催
平成26	2014	1	「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」導入
平成27	2015	2	耐震工事(7月まで)
		4	図書館改革のため、館長を任期付職員で登用
平成28	2016	6	新聞雑誌スペースを研修・ワークショップスペースに改修 「聞蔵II(朝日クロスサーチ)」「日経テレコン21」導入
平成29	2017	6	「ルール電子図書館」、「magazineplus」(令和4年3月末契約終了)、「ジャパンナレッジ」、「毎索」、「J-DreamⅢ」、「ヨミダス歴史館」、「ポプラディアネット」(令和4年3月末サービス終了)、「市場情報評価ナビMieNa」導入(令和6年3月末契約終了)
		8	外壁改修工事(12月まで)
		10	「ネーミング・ライツ・パートナー(株式会社内田洋行)」の導入及び「知識情報ラボUCDL(ウチデル)」のオープン(令和2年9月終了)
平成30	2018	3	床・階段改修、児童図書室改修(リニューアル)
		4	「中日新聞・東京新聞記事データベース」導入
平成31	2019	3	児童図書室に体験・発見コーナー設置(子どもの未来支援基金活用)、一般図書室書架・空間等の大規模リニューアル
		4	「信州・学び創造ラボ」の開設、児童図書室で体験遊具(ストライダー等)の貸出開始
令和元	//	11	「Library of the Year 2019」優秀賞受賞
令和2	2020	4	信州・知のポータル「信州ナレッジ・スクエア」を開設
		5	全国知事会先進政策バンクにおいて「信州・学び創造ラボ」整備事業が優秀政策に選定
令和3	2021	4	3課制(総務課・企画協力課・資料情報課)から2課4係制(総務企画課・資料情報課)へ組織変更、副館長配置
		//	閉架書庫棟6階整備工事竣工
令和4	2022	8	県内77市町村と協働して電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を開始 紀伊國屋書店の「KinoDen」を使用して「県立長野図書館電子書籍サービス」を開始
		//	「デジタルアーカイブジャパン・アワード」を「信州デジタルコモンズ」が受賞
令和5	2023	4	館長出演 FMぜんこうじ「図書ナビゲーション」(「ひるどき もんぷらワイド!」内)開始(毎月第2火曜日)
		11	全国知事会先進政策バンク令和5年度「先進政策大賞」および「デジタルソリューションアワード大賞」に「市町村と県による協働電子図書館事業”デジとしよ信州”」が選定
		//	「デジとしよ信州」が第11回プラチナ大賞優秀賞地域パートナーシップ賞受賞
		12	全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門)開催
令和6	2024	3	書庫棟昇降機改修工事(令和5年7月～令和6年3月)
		4	関東地区公共図書館協議会(1都10県で構成)事務局を担当(～令和8年3月までの2年度)
令和7	2025	2	県産材を使った木質化工事着工
令和8	2026	3	全館照明LED化工事竣工

参考資料:『県立長野図書館三十年史』『県立長野図書館五十年史』『県立長野図書館概要 昭和62年度～令和5年度』

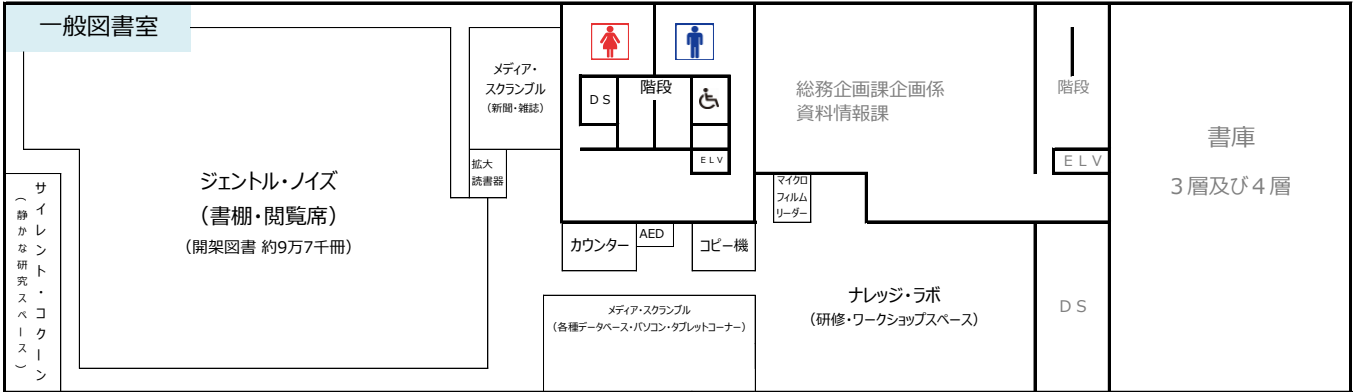
3 施設概要

所在地	長野市若里1丁目1番4号
開所	昭和54年(1979年)8月(移転新築) ※昭和4年(1929年)8月設置
敷地	6,152㎡(建物区画4,243㎡ 利用者駐車場1,909㎡(80台(うち障がい者等用3台)))
建物	RC(地上3階地下1階) 8,681㎡(本館8,614㎡、公用車庫67㎡)

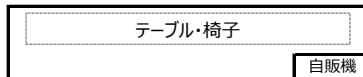
3階



2階



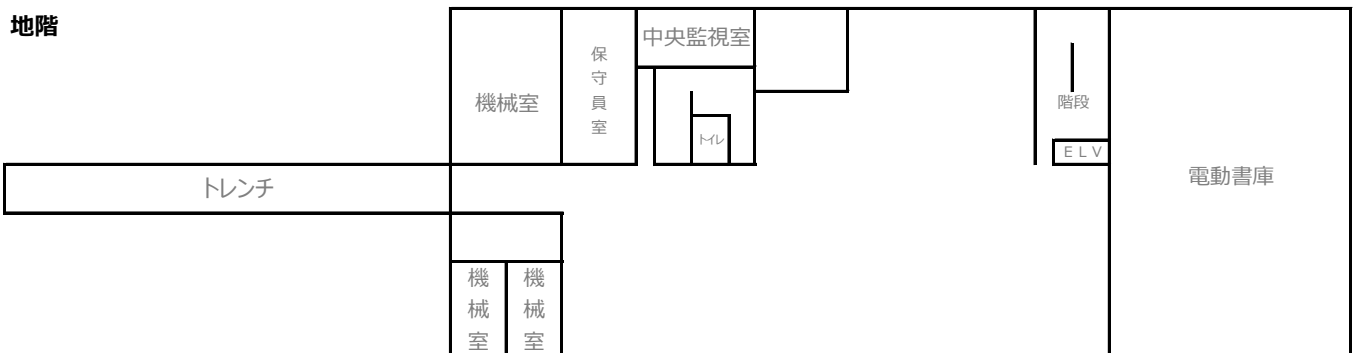
中2階休憩室



1階



地階



4 利用案内

(1)開館時間

階	施設名	土・日・祝日	火～金曜日
1階	児童図書室	9:00～17:00	
2階	一般図書室	9:00～17:00	9:00～19:00
3階	信州・学び創造ラボ	9:00～17:00	9:00～19:00
	会議室(供用)	9:00～17:00	9:00～19:00

(2)休館日

- ・定例 毎週月曜日(祝日(振替休日)と重なる場合も休館)
- ・蔵書整理日 毎月最終金曜日(祝日の場合は前日の木曜日)
- ・蔵書整理期間 5月16日～5月31日
- ・年末年始 12月28日～翌年1月4日



©長野県アルクマ

《お問い合わせ等》

〒380-0928 長野市若里 1-1-4

URL : <https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>

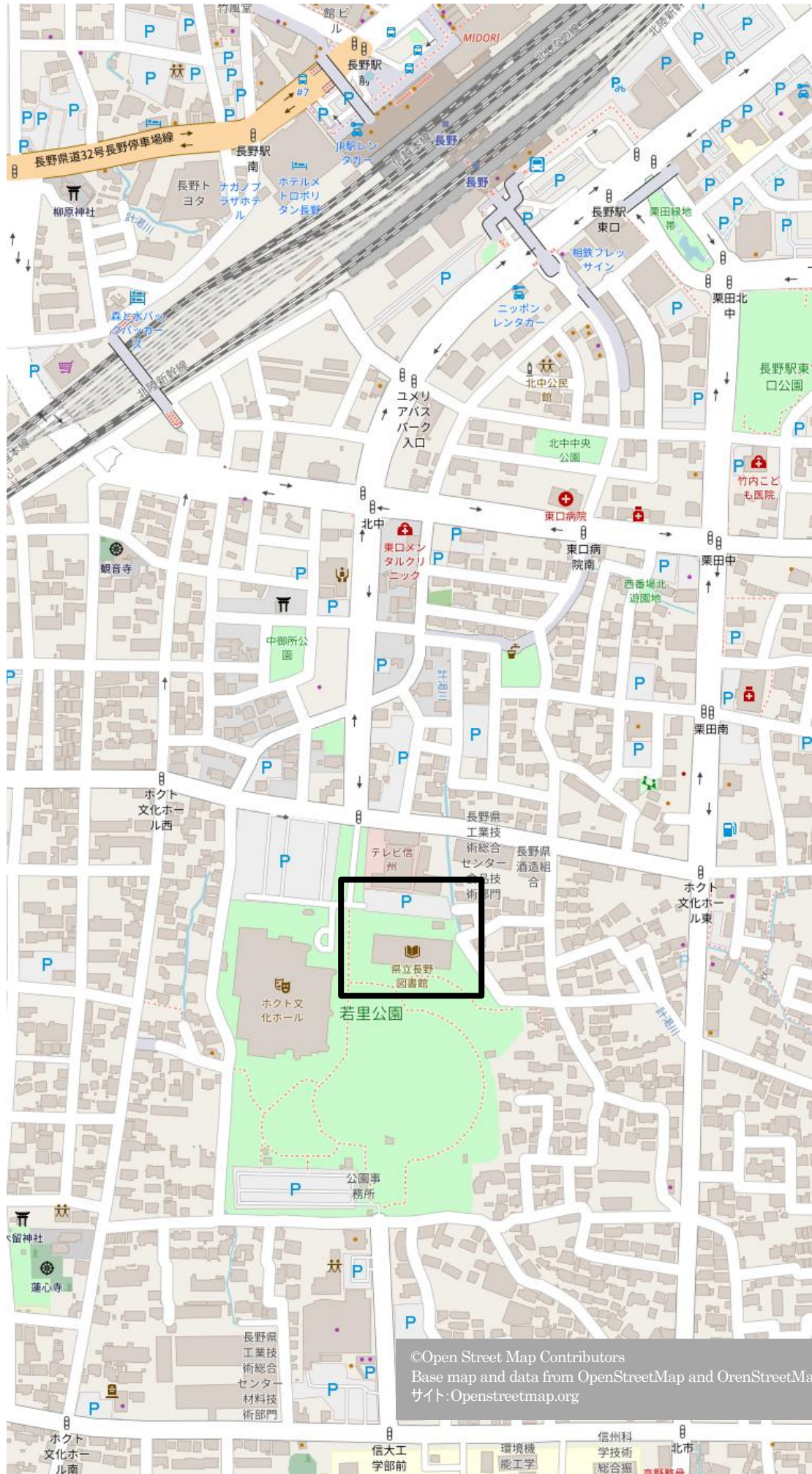
E-mail : ken-tosho@library.pref.nagano.jp

●資料情報課 利用登録、資料の利用関係(貸出延長、ネット貸出、複写等)
相互貸借、レファレンス、寄贈受付、県立長野図書館電子書籍
サービス、インターンシップ、「信州ナレッジスクエア」ほか
TEL:(026)228-4921 FAX:(026)291-6252

●総務企画課 総務係 総合案内、予算、庶務、施設管理ほか
TEL:(026)228-4500 FAX:(026)228-4933

企画係 図書館連携、研修事業、信州・学び創造ラボ、デジとしょ信州ほか
TEL:(026)228-4939 FAX:(026)291-6252

案内図



©Open Street Map Contributors
Base map and data from OpenStreetMap and OpenStreetMap Foundation
サイト: Openstreetmap.org